

ヨハネの黙示録

Bible Forum in KOBE



聖書フォーラム
BIBLE FORUM

ご利用方法について

格納場所：神戸元町聖書フォーラム

<http://seishoforum.net/>



お願い！

このパワーポイント資料は
Clay クレイ聖書解説コレクション
と

聖書講解メッセージ・シリーズ「ヨハネの黙示録」
を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキスト、無料配信動画、メッセージアウトライン
などと合わせて、**ご参照・ご活用下さい！**

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

全体構造理解の大前提！ ディスペンセーションリズム

定義「ディスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経綸（時代・時代区分）

(1) 聖書を字義通りに解釈。

(2) 「イスラエル」と「教会」を一貫して区別。

(3) 神がユダヤ民族とアブラハム契約を結ばれたこと。
それが永遠の契約であることを認める。

(4) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」である。

※ 漸進的啓示の理解も重要！

時代区分	過去			④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	現在	未来
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~			⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア
1. エデン契約	【1】エデン契約						
聖書箇所	・創1:26~31・創2:16~17						
2. アダム契約	アダムの契約【2】						
聖書箇所	・創3:14~19						
3. ノア契約	ノアの契約【3】						
聖書箇所	・創9:1~17						
4. アブラハム契約	アブラハムの契約【4】						
聖書箇所	・創12:1~3 ・創12:7 ・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18						
5. モーセ契約	モーセの契約【5】						
聖書箇所	・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18						
6. 土地の契約	土地の契約【6:土地】						
聖書箇所	・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目						
7. ダビデ契約	ダビデの契約【7:子孫】						
聖書箇所	・IIサム7:11b~17(ソロモン強調) ・I歴17:10b~15(メシア強調)						
8. 新しい契約	新しい契約【8:祝福】						
聖書箇所	・エシ31:31~34						

以前の天と地は過去だった
白い御座の慈き
第二の復活と第二の死

黙21:1
~22:5

新天新地

新しいエルサレム

神の栄光

時間を超越した
永遠の秩序

エゼ28:13によれば
サタンが反逆によって
エデンの園は
かつての栄光を失った。
聖なる都エルサレムは
その栄光を回復したもので
本来のエデンの園以上の
輝きを与えられている。

神のご計画の全貌

Q1) 聖書の始まりとは？

Q2) サタン墮落前と人類墮落前のエデンの園とは？

創1:1 創1:2 創1:3 ~27

サタンの墮落(エゼ:28:11~19、イザ14:12~14)

人類の墮落

初めに、神が天と地を創造した。

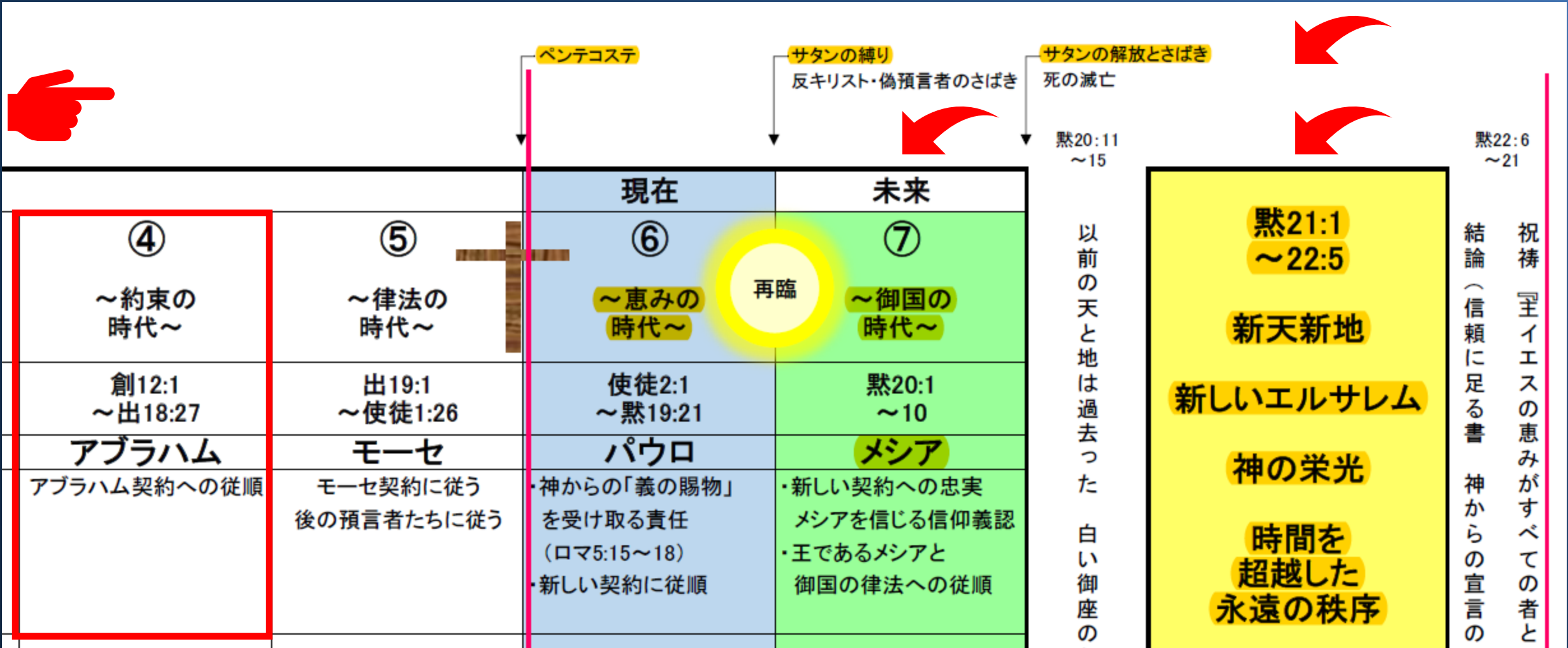
a 地は形なく、むなしく、やみが淵の

神は仰せられた。光があれ。」する

時代区分	過去			
	①	②	③	④
時代区分	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム
責任	エデン契約への従順	アダム契約への従順	ノア契約への従順	アブラハム契約への従順

Q1) 聖書の終わりとは？

Q2) 人類墮落前とサタン墮落前以上の回復とは？

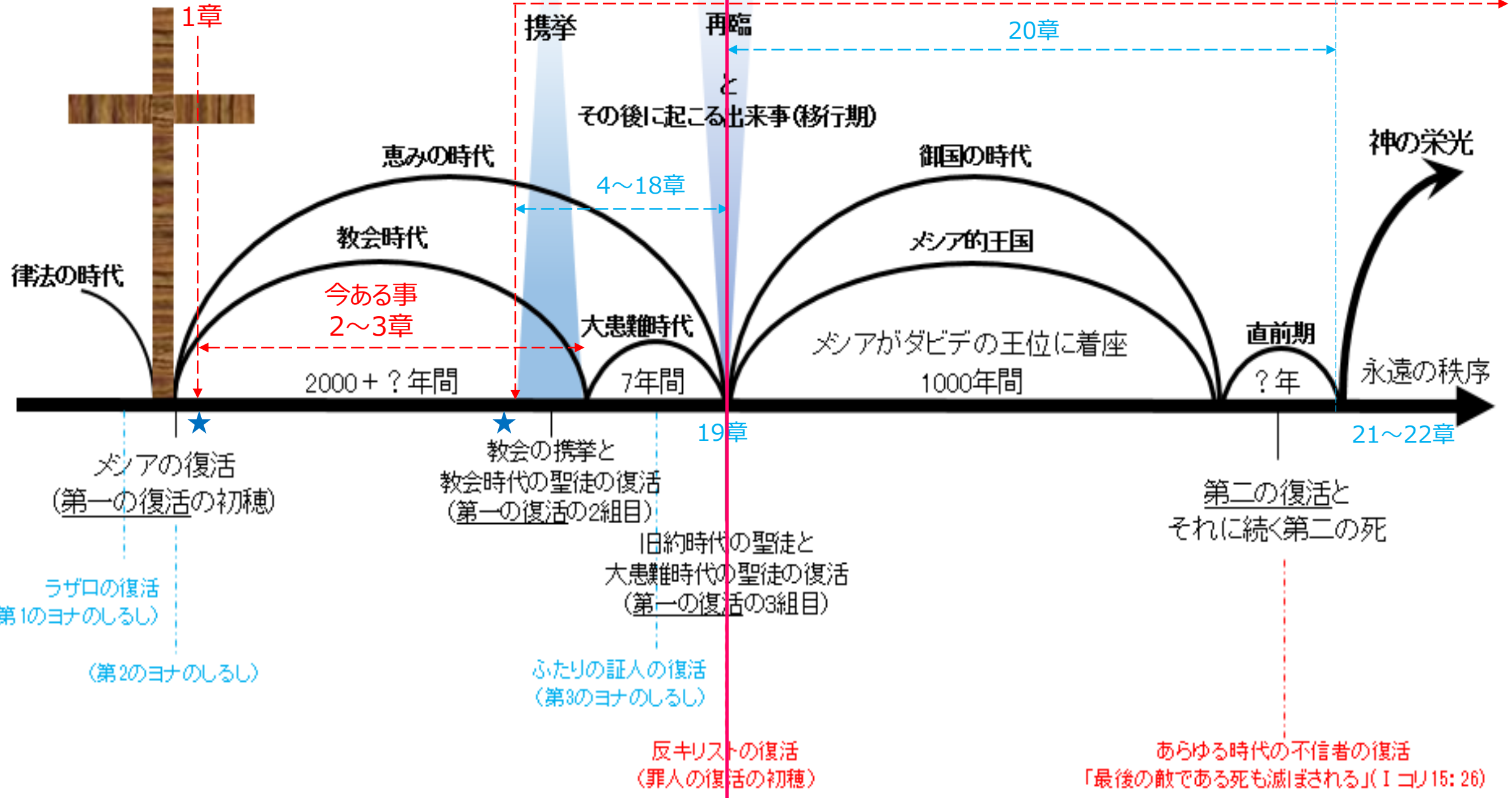


終末論の全貌

ヨハネが見た事

1章

この後に起こる事(4~22章)



メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

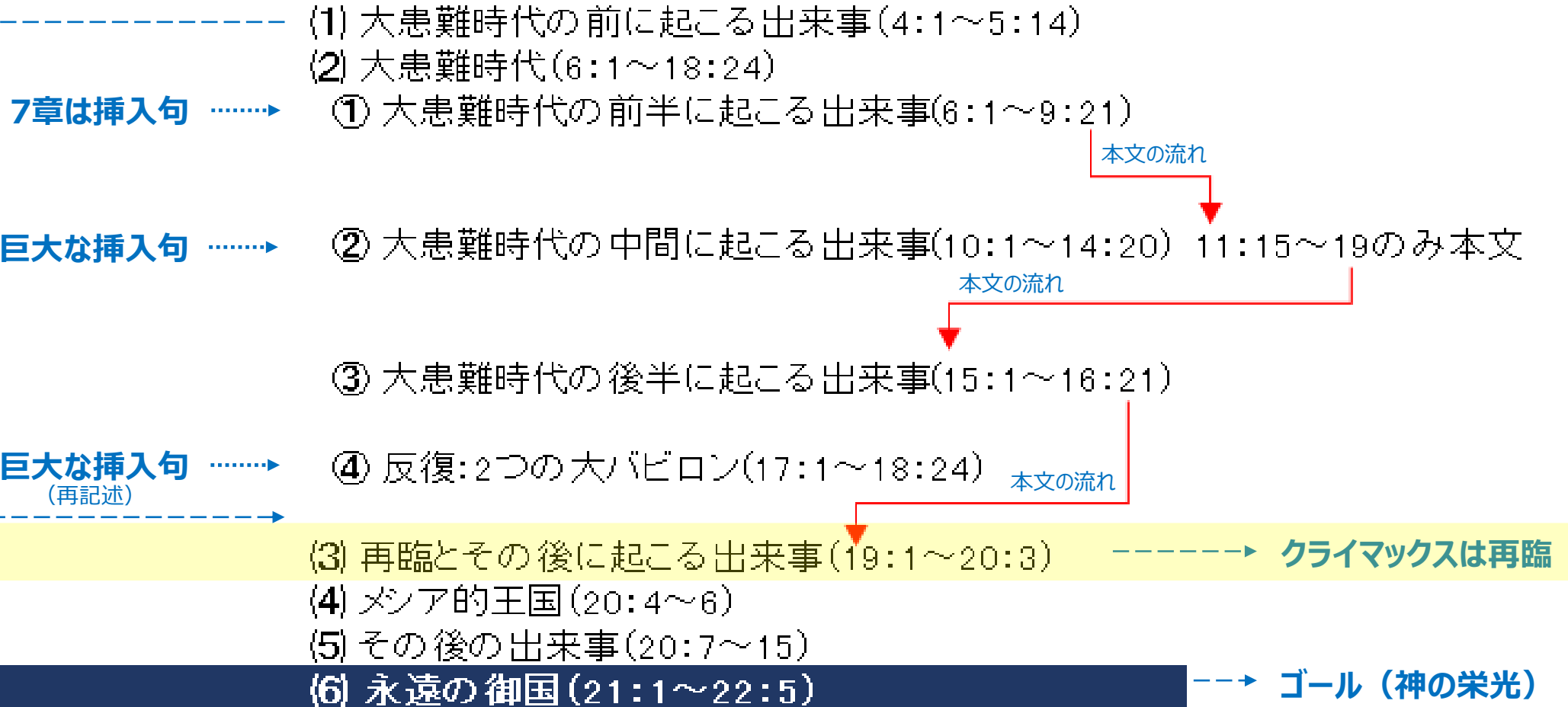
第二の復活と
それに続く第二の死

あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ15: 26)

目次の全体構造

- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)

1章

イントロダクション

ヨハネによる前書き

ヨハネが見た事：栄光の主

< アウトライン >

第1回

- (1) 著者と受取人
- (2) 解釈のための4つのアプローチ
- (3) 黙示録のアウトライン

第2回

- (1) 序言 (1~3節)
- (2) あいさつ (4~8節)

第3回

- (1) ラツパの音のような大きな声 (9~11節)
- (2) 栄光に輝く人の子 (12~16節)
- (3) 幻の解釈 (17~20節)

黙示録の要点(1)

～ 3つの重要聖句 ～

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。」

黙示録の要点(2)

～ 黙示録のテーマを理解する ～

～ 主の大いなる再臨の日を待つ ～

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**（黙1：7）

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**（ゼカリヤ12：10）

(3) 終末論の出来事の流れ

① **携拳**→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心

② **再臨**→千年王国

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的
靈的なもの**(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯

「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正

(6)祝福の約束

「1：3 この予言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを**心に留める**人々は幸いである。時が近づいているからである。」

「22：7 見よ。わたしはすぐに来る。
この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「**堅く守る**」とは、「**心に留め**見張っている状態」を言います。

テーマが再臨であることを理解し

主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

黙示録の要点(3)

～ 再臨の条件は、ユダヤ人の民族的回心 ～

～ 教会としての責務とは ～

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える โรม1:16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。
※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う โรม15:25~27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62:1~2 ③イザ62:6~7 ④ロマ10:1

2～3章 地上の教会

2～3章

エペソにある教会

スミルナにある教会、ペルガモにある教会

テアテラにある教会、サルデスにある教会

フィラデルフィアにある教会

ラオデキヤにある教会

< アウトライン >

第4回

- (1)7つの教会の神学的意味
- (2)エペソにある教会 (1~7)
 - ①宛先
 - ②賞賛
 - ③叱責
 - ④奨励
 - ⑤約束

第5回

- (1)スミルナにある教会 (8~11)
- (2)ペルガモにある教会 (12~17)

< アウトライン >

- 第6回 [(1)テアテラにある教会 (2 : 18~29)
(2)サルデスにある教会 (3 : 1~6)
- 第7回 [(1)フィラデルフィアにある教会 (3 : 7~13)
- 第8回 [(1)ラオデキヤにある教会 (3 : 7~13)

アジアにある7つの教会



7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2:1 ~ 3:22)

教会名	内容	キリスト描写	賞賛	叱責	奨励	約束
エペソ 意味：好ましい (黙 2:1-7) 使徒時代の教会の型 紀元 30年 ~ 100年頃		<ul style="list-style-type: none"> ・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方 	<ul style="list-style-type: none"> ・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの愛から離れてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2:8-11) 迫害時代の教会の型 1世紀 ~ 4世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・初めであり、終わりである方 ・死んで、また生きた方 	<ul style="list-style-type: none"> ・貧しさや迫害に耐えている 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦しみを恐れるな ・死に至るまで忠実であれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2:12-17) 国家教会時代の教会の型 4世紀 ~ 5世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・鋭い、両刃の剣を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・隠れたマナ (栄光のキリスト) が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した権性 (黙 2:18-29) 暗黒時代の教会の型 6世紀 ~ 15世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子 	<ul style="list-style-type: none"> ・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星 (キリスト) が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3:1-6) 宗教改革時代の教会の型 16世紀 ~ 17世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・神の7つの御霊、および7つの星を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい行い ・生きているとの評判がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・実は死んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3:7-13) 大主教時代の教会の型 18世紀 ~ 19世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった 			<ul style="list-style-type: none"> ・試練の時 (大患難時代) から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3:14-22) 腐敗時代の教会		<ul style="list-style-type: none"> ・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方 		<ul style="list-style-type: none"> ・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である 	<ul style="list-style-type: none"> ・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を隠さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

✗7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

5: サルテス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没業」

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きた特別な日

100~313年

30~100年頃

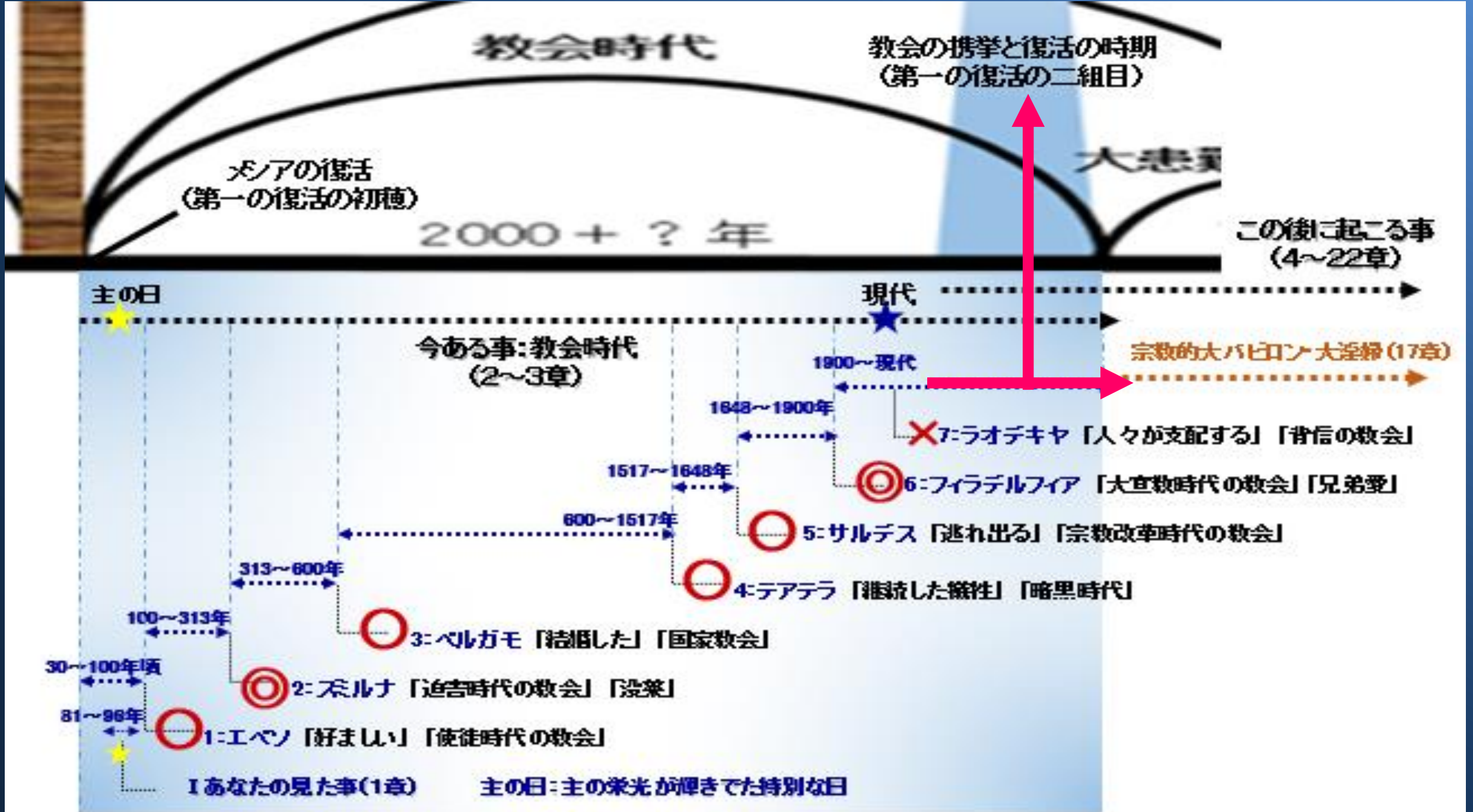
81~96年

313~600年

600~1517年

1517~1648年

1648~1900年



4～5章 天上の教会

4章

7つの封印を解く前の天の様子

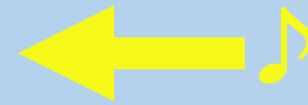
< アウトライン >

第9回

- (1)招き (1節)
- (2)天の御座 (2～3節)
- (3)24人の長老たち (4節)
- (4)七つの御霊 (5節)
- (5)4つの生き物 (6～8節)
- (6)天での礼拝 (9～11節)

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

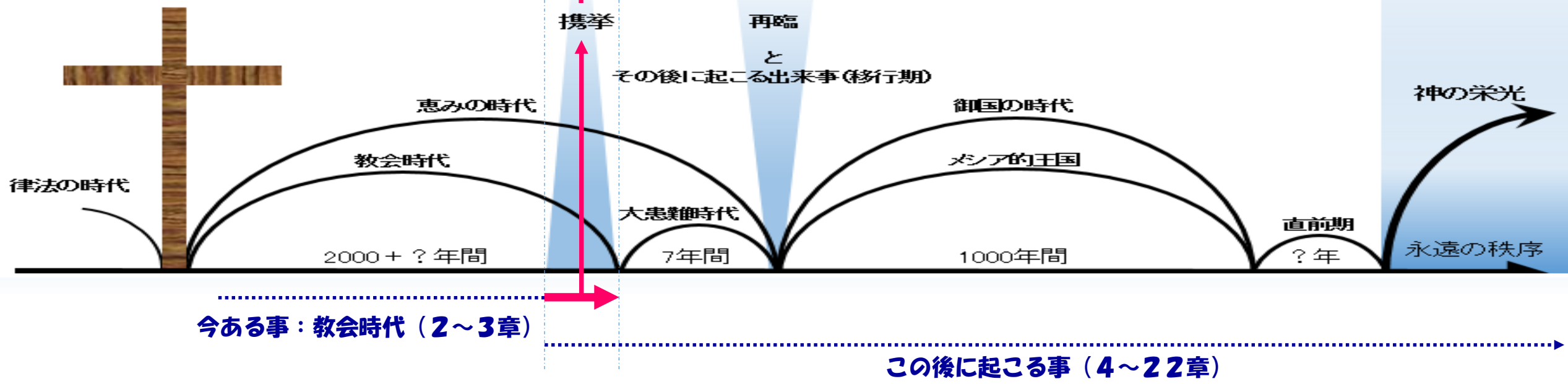


天での礼拝

*ヨハネが見た様子、天の視点

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

地上の視点



今ある事: 教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

5章

巻物と小羊

< アウトライン >

第10回

- (1) 7つの封印で封じられた巻物 (1節)
- (2) 誰が巻物を開くことができるのか (2~4節)
- (3) ほぶられたと見える小羊 (5~7節)
- (4) 小羊の礼拝 (8~11節)

7つの封印で綴じられた巻物

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

5章

- 5. ほふられたとみえる小羊
ユダ族の獅子・ダビデの根
- 6. 多くの御使い
- 7. 被造世界の全無生物・生物

天のオーケストラ

天での礼拝

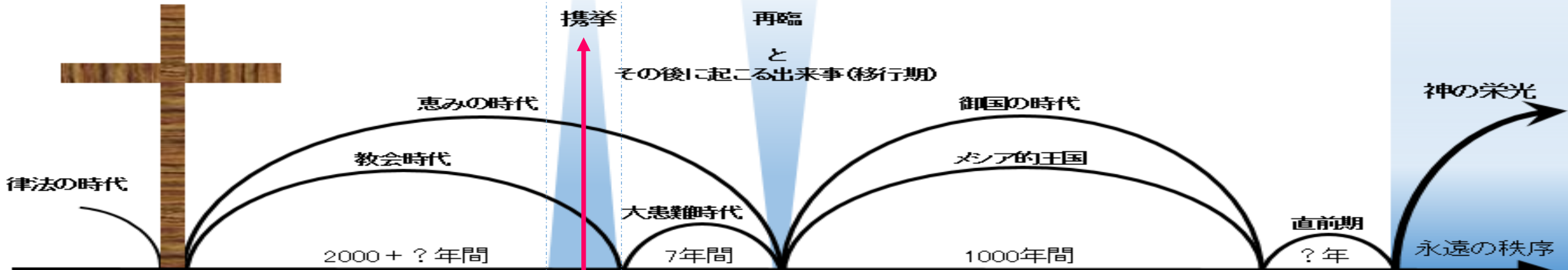
礼拝に参加

礼拝に参加

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

*ヨハネが見た様子、天の視点

地上の視点



今ある事：教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

6章

封印の裁き1～4、5～6

< アウトライン >

第11回

(1)第1の封印 (1～2節)

(2)第2の封印 (3～4節)

(3)第3の封印 (5～6節)

(4)第4の封印 (7～8節)

第12回

(5)第5の封印 (5～6節)

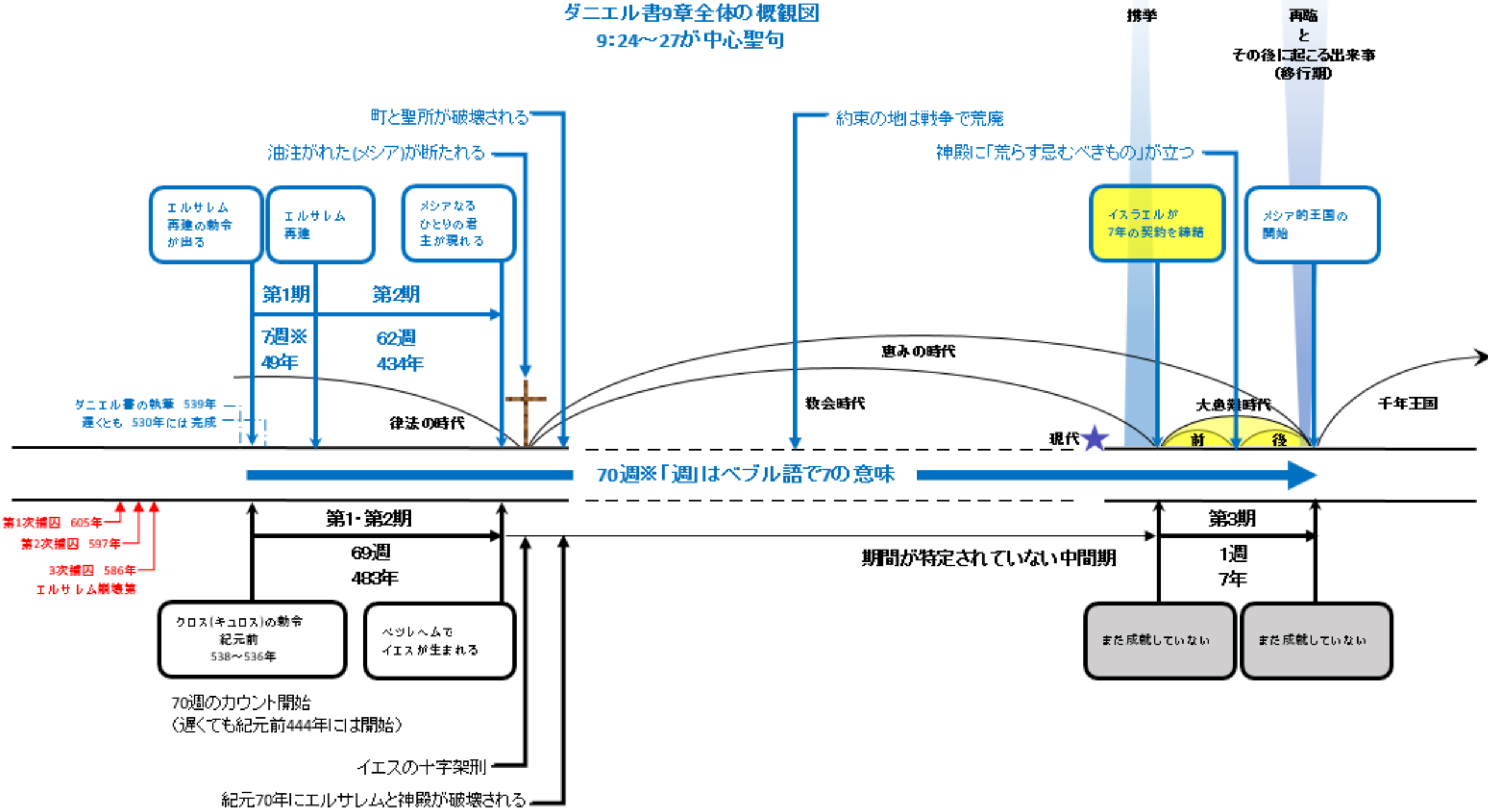
(6)第6の封印 (7～8節)

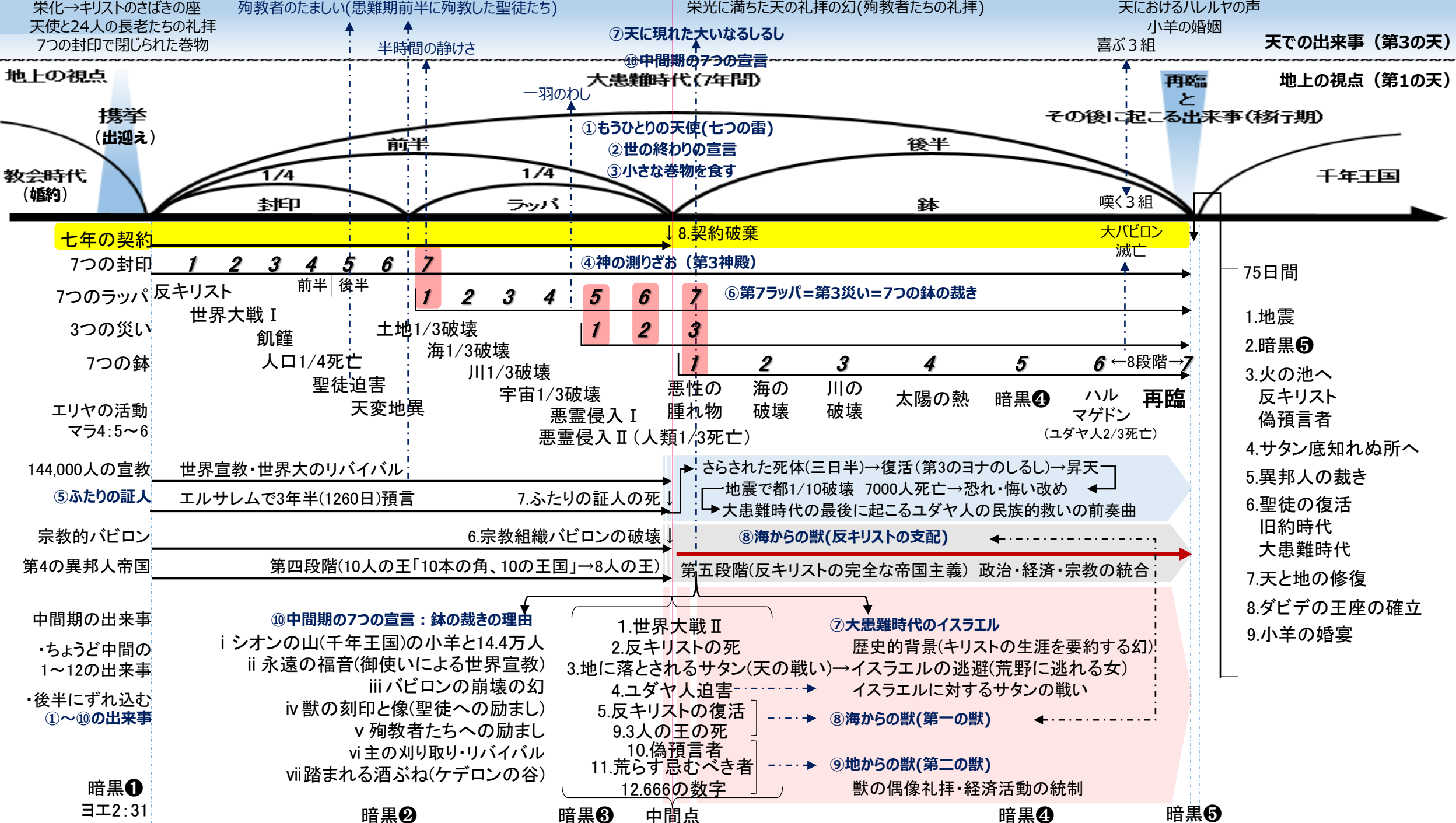
イントロ

ダニエル書9章 70週の預言
大患難時代の3つの目的

ダニエル書9章全体の概観図

9:24~27が中心聖句





大患難時代の3つの目的

① 邪悪を一掃

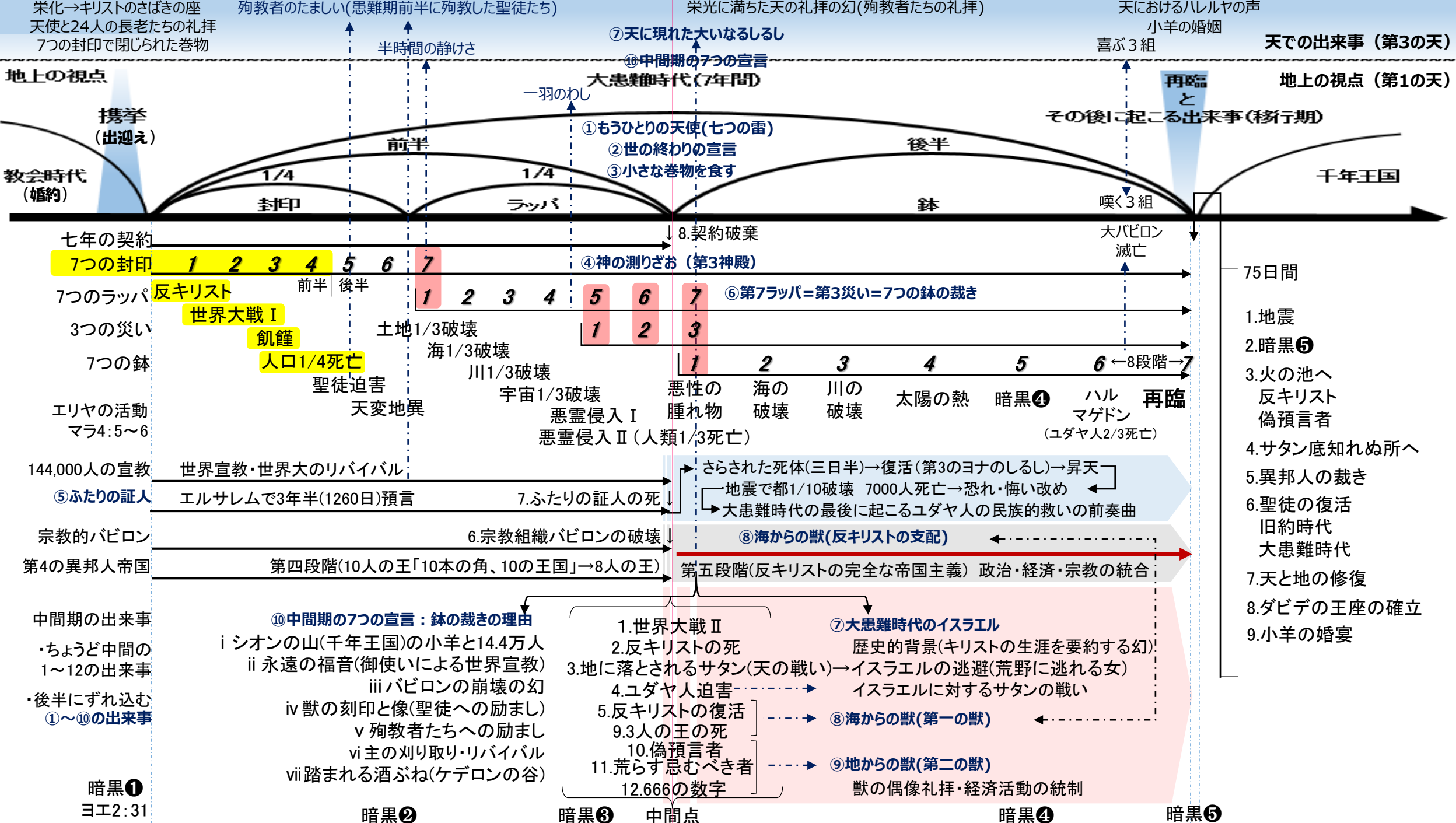
(イザヤ書13：9)

② 世界大のリバイバル

(黙示録7章 マタ24：14)

③ イスラエルの国家的な新生(再臨の条件)

(ダニエル書12：7)



7章

144,000人のユダヤ人
白い衣を着た大群衆

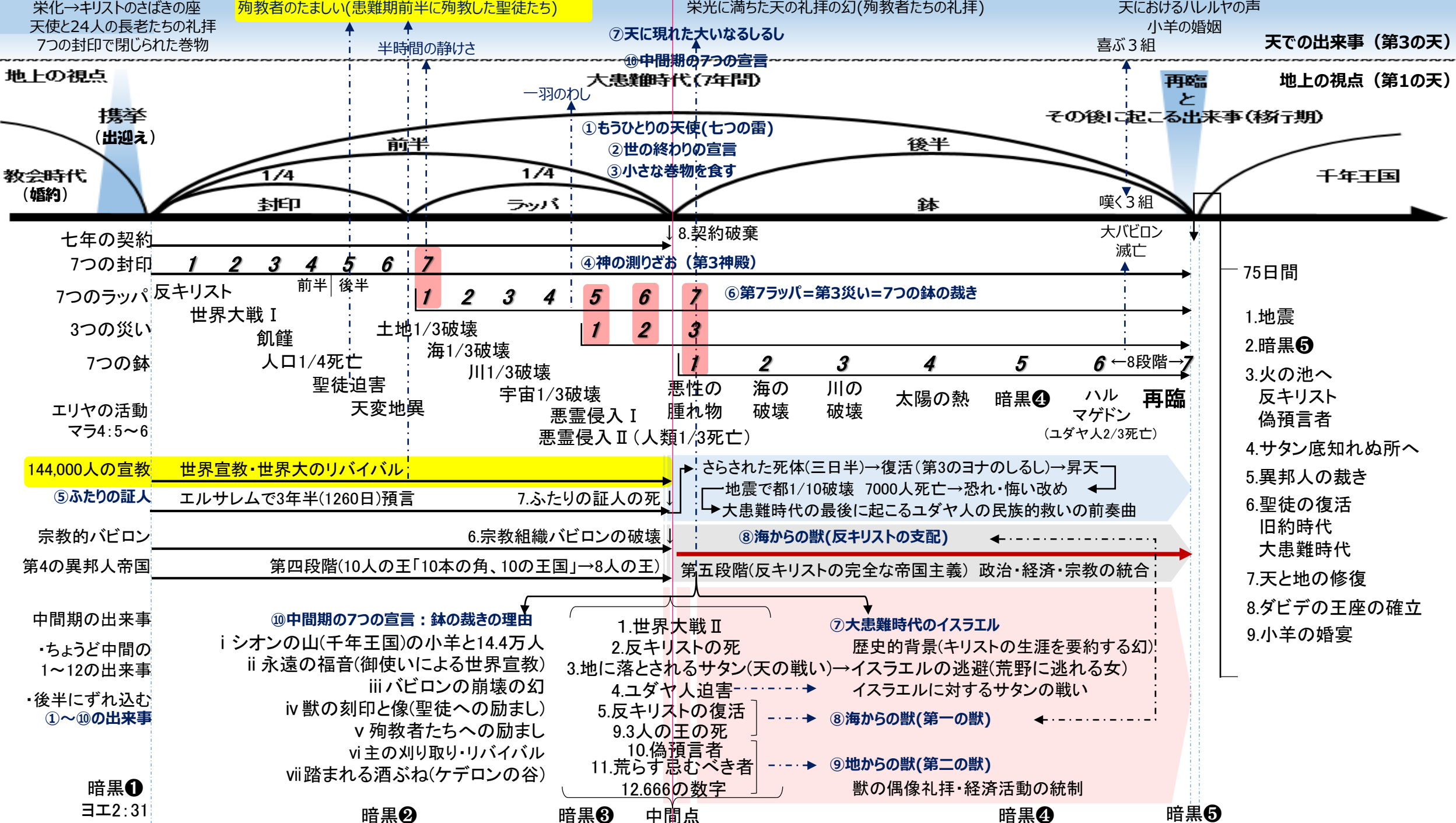
< アウトライン >

第13回

- (1)4人の御使いの幻 (1~3節)
- (2)144,000人のユダヤ人 (4節)
- (3)12部族 (5~8節)

第14回

- (1)諸国からの大群衆 (9~10節)
- (2)天使たちの礼拝 (11~12節)
- (3)大患難時代の殉教者 (13~14節)
- (4)殉教者が受ける祝福 (15~17節)



8～9章 ラッパの裁き

8章

ラツパの裁き1～4

< アウトライン >

第15回

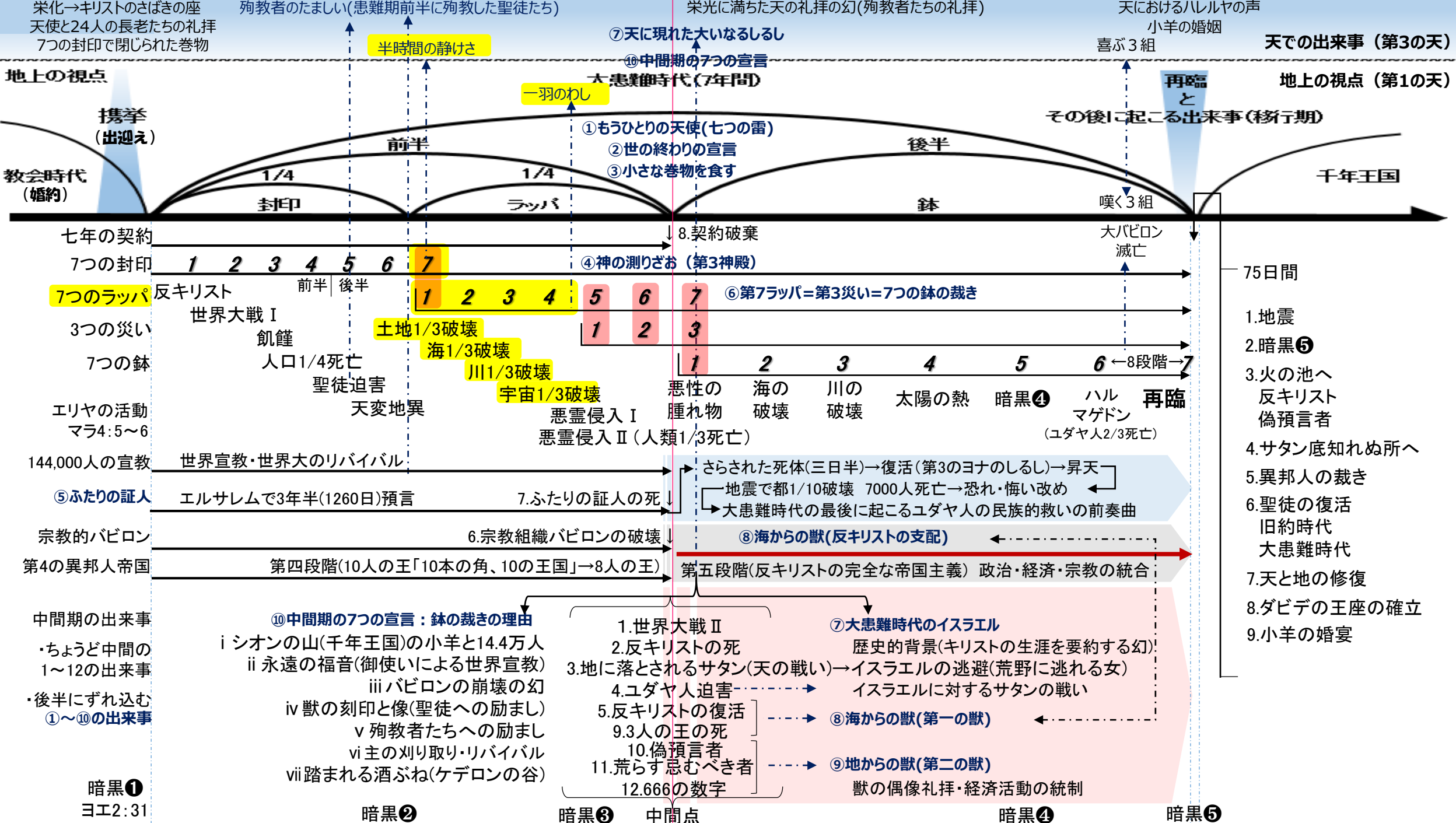
イントロダクション：7人の天使たち（1～6節）

(1)第1のラツパ（7節）

(2)第2のラツパ（8～9節）

(3)第3のラツパ（10～11節）

(4)第4のラツパ（12～13節）



9章

ラツパの裁き5

ラツパの裁き6

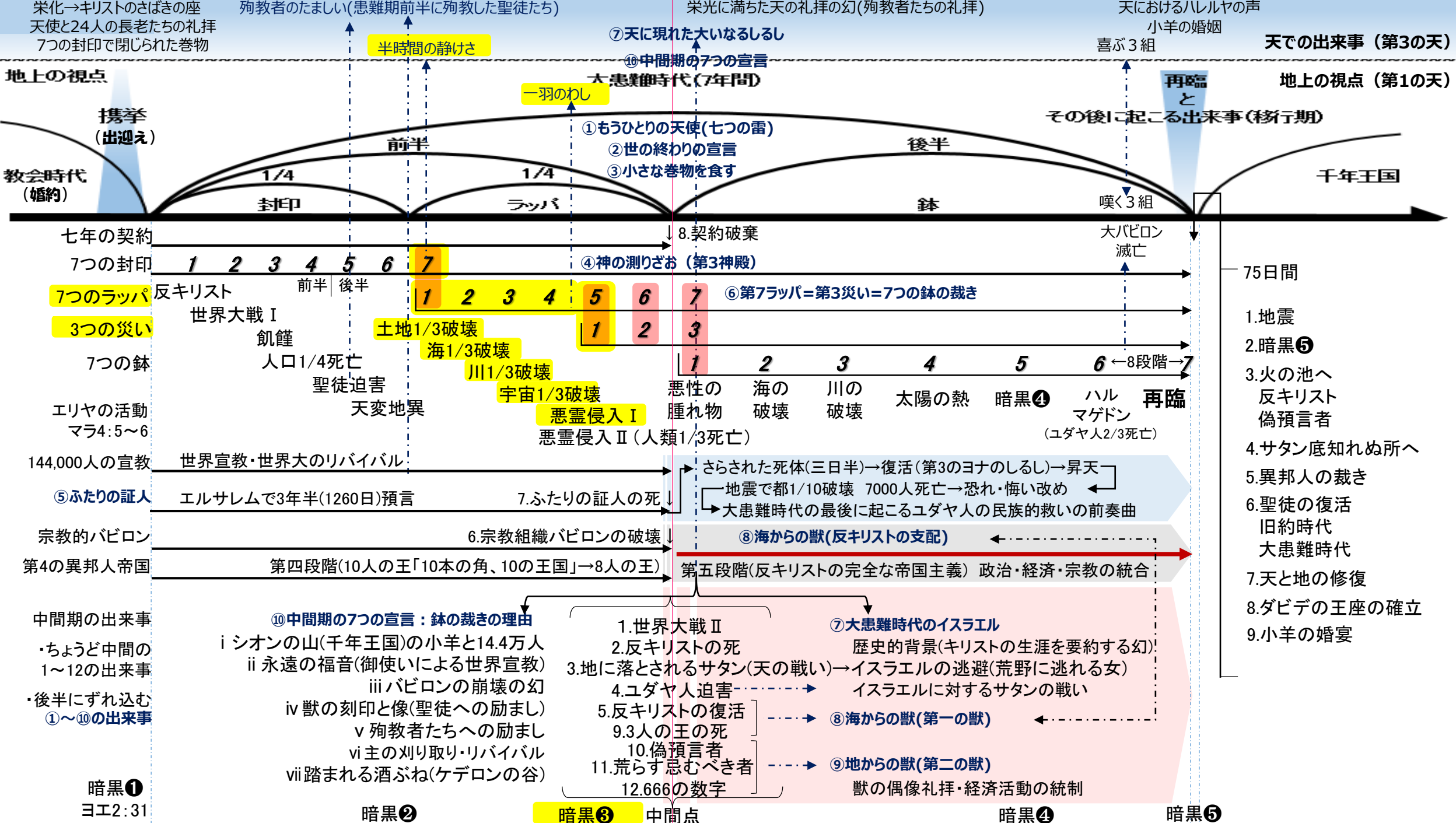
< アウトライン >

第16回

- (1)天から落ちた一つの星（1～2節）
- (2)穴から出てきた悪霊ども（3～6節）
- (3)悪霊どもの描写（7～8節）

第17回

- (1)これから来る2つのわざわいの裁き（12節）
- (2)4人の天使の解放（13～15節）
- (3)2億の軍勢（16～19節）
- (4)悔い改めない人々（20～21節）



死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス
(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス
(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ
(比喩的言葉)

⑪パラダイス

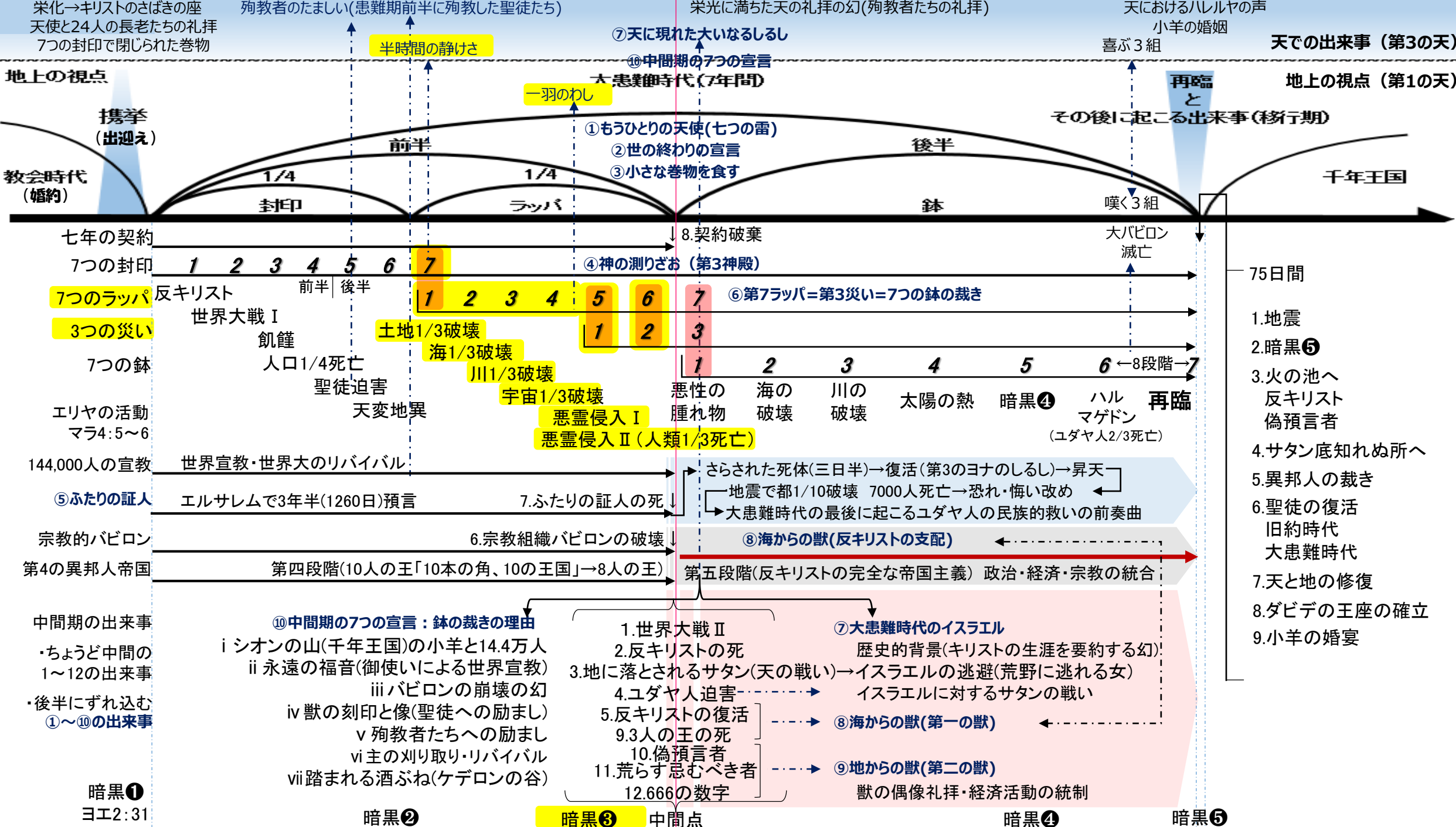
- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	



10～11章

ちょうど中間の出来事

10章

小さな巻物

< アウトライン >

第18回

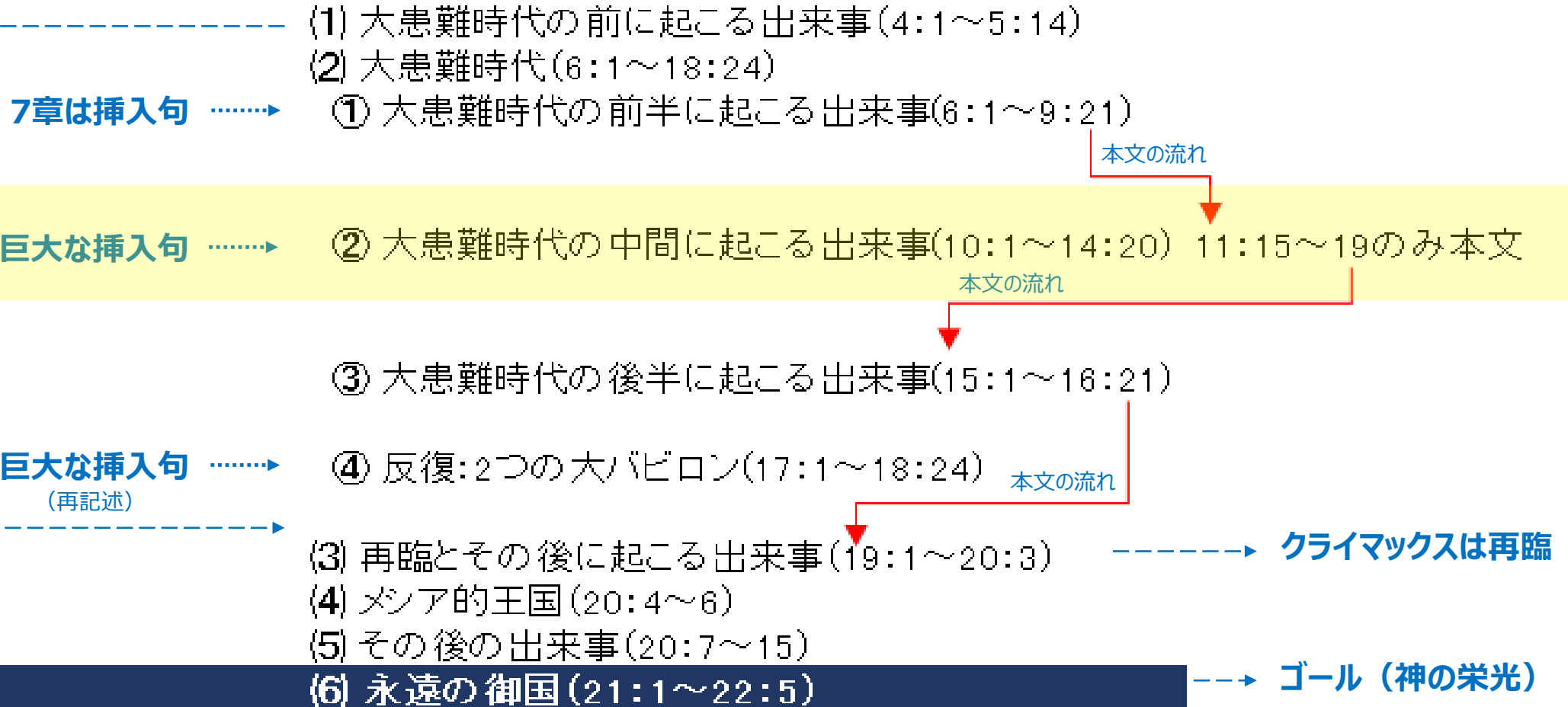
(1)もうひとりの天使 (1~4節)

(2)世の終わりの宣言 (5~7節)

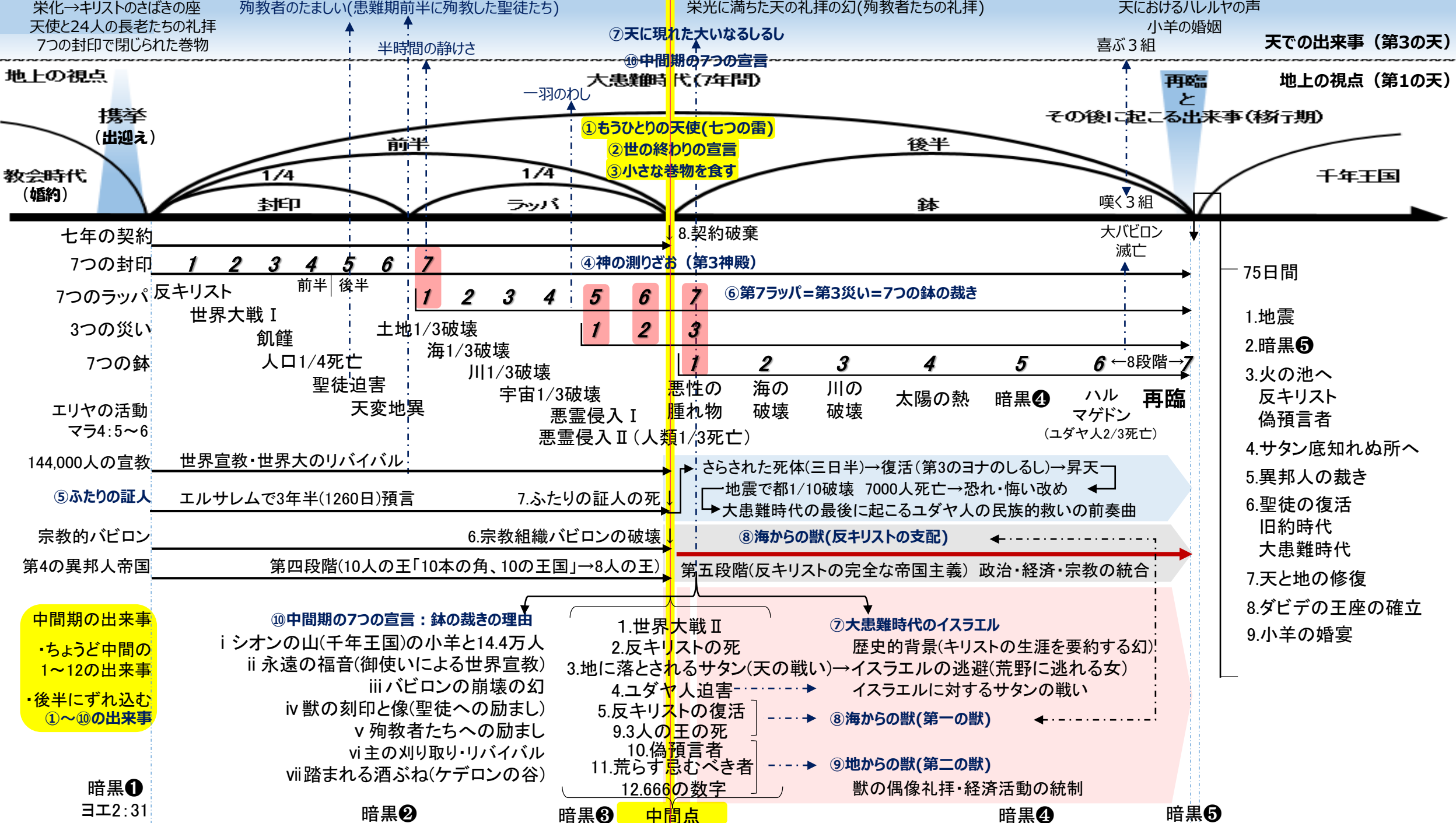
(3)小さな巻物を食す (8~11節)

- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)



11章

ふたりの証人の復活 ラツパの裁き

< アウトライン >

第19回

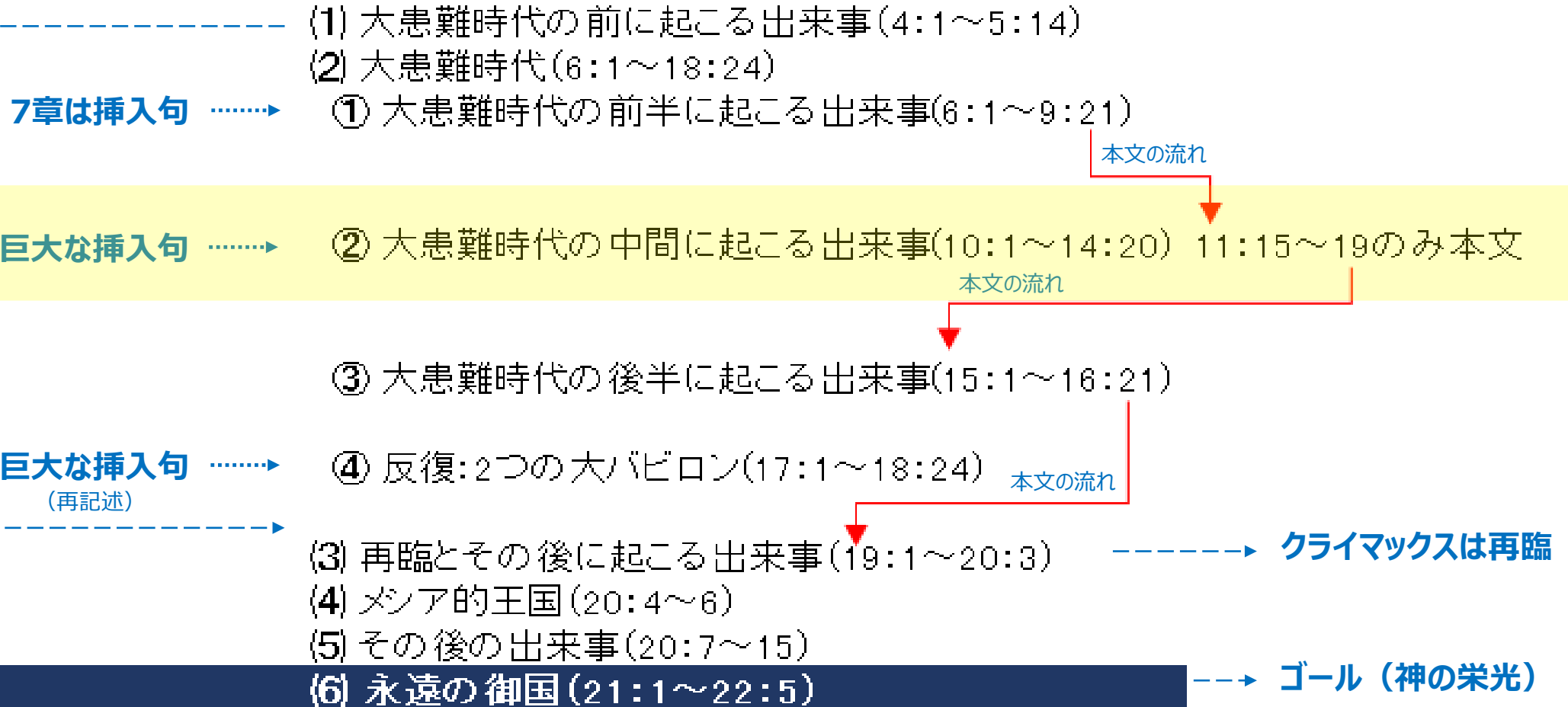
- (1) 神の測りざお (1~2節)
- (2) ふたりの証人の活動 (3~6節)

第20回

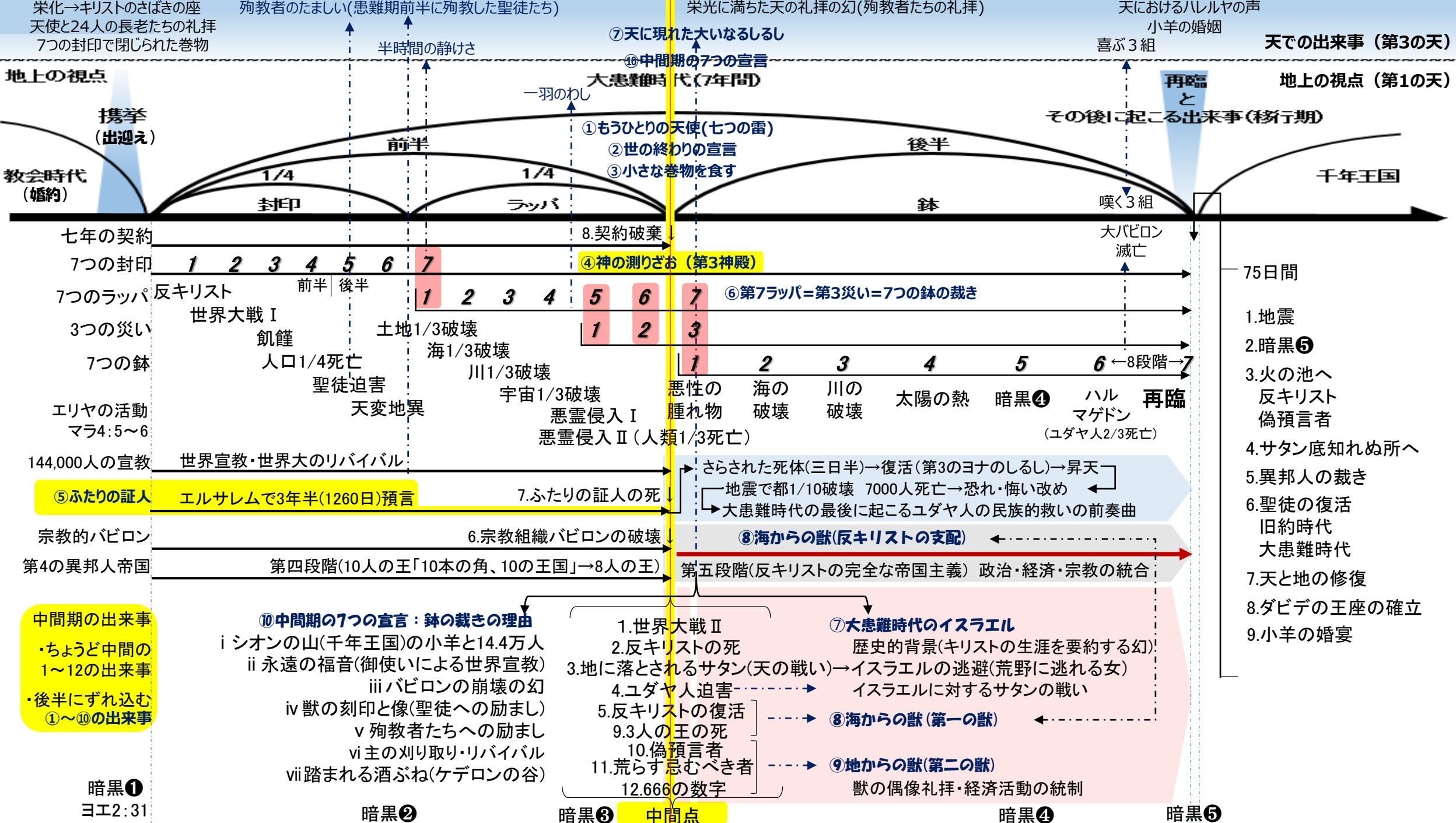
- (1) ふたりの証人の死 (7~10節)
- (2) ふたりの証人の復活 (11~13節)
- (3) 第7のラツパ (14~19節)

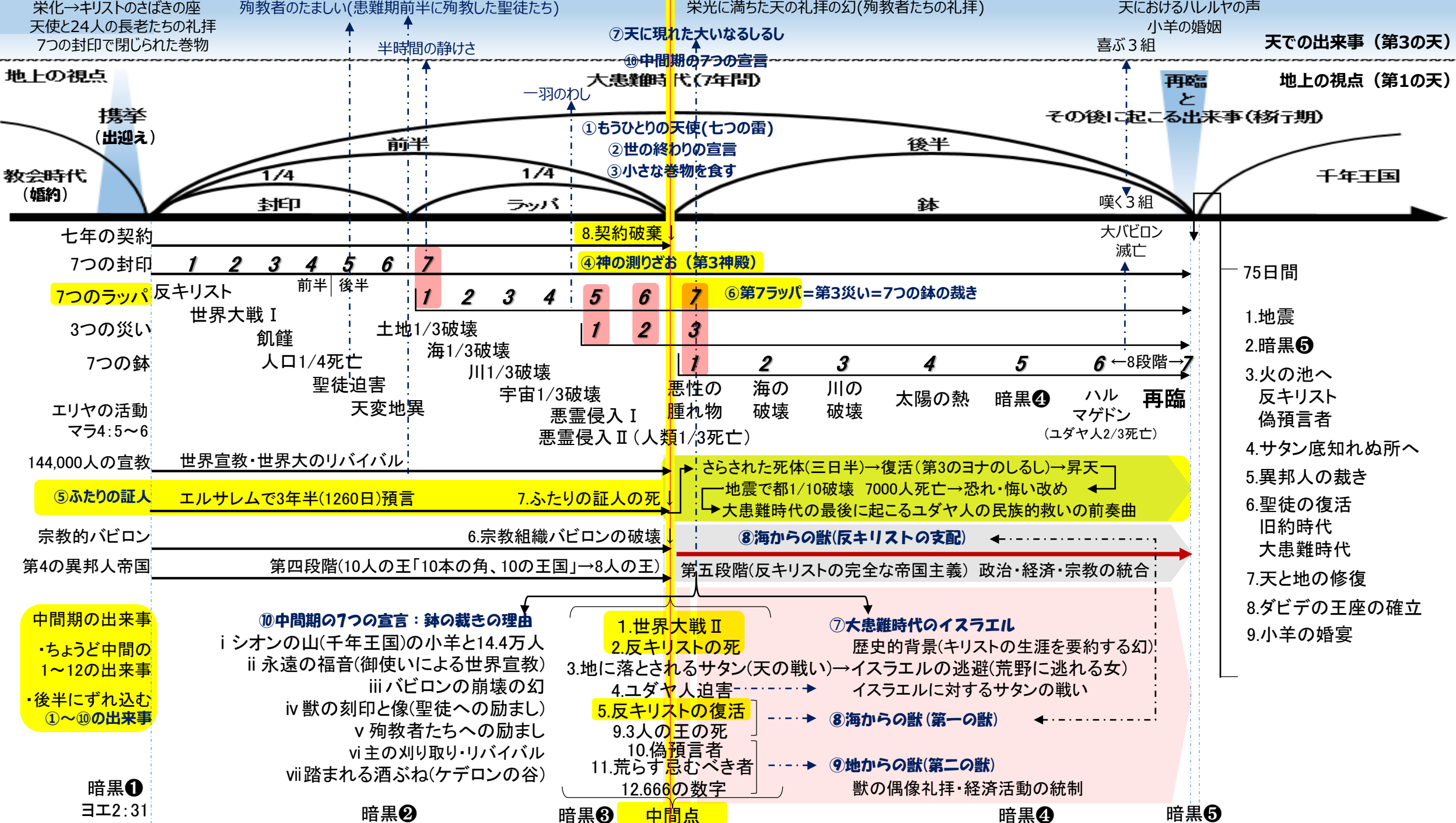
- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)





中間期の出来事
 ・ちょうど中間の1~12の出来事
 ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

- ⑩中間期の7つの宣言: 鉢の裁きの理由**
- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
 - ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
 - iii バビロンの崩壊の幻
 - iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
 - v 殉教者たちへの励まし
 - vi 主の刈り取り・リバイバル
 - vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

- ⑦大患難時代のイスラエル**
 歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!
- 1. 世界大戦Ⅱ
 - 2. 反キリストの死
 - 3. 地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
 - 4. ユダヤ人迫害
 - 5. 反キリストの復活
 - 9. 3人の王の死
 - 10. 偽預言者
 - 11. 荒らす忌むべき者
 - 12. 666の数字

- ⑧海からの獣(第一の獣)**
 イスラエルに対するサタンの戦い
- ⑨地からの獣(第二の獣)**
 獣の偶像礼拝・経済活動の統制

さらされた死体(三日半)→復活(第3のヨナのしるし)→昇天
 地震で都1/10破壊 7000人死亡→恐れ・悔い改め
 大患難時代の最後に起こるユダヤ人の民族的救いの前奏曲

暗黒①
 ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

暗黒⑤

死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス
(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス
(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ
(比喩的言葉)

⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

12章

イスラエルに対する戦い

< アウトライン >

第21回

(1)ひとりの女 (1~2節)

(2)赤い竜 (3~4節)

(3)男の子 (5~6節)

第22回

(1)天での戦い (7~9節)

(2)天に起こる声 (10~12節)

(3)イスラエルを迫害する竜 (13~16節)

7人の主役たち

～12-13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する～

12章：前半

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

12章：後半

④ミカエル：天使長

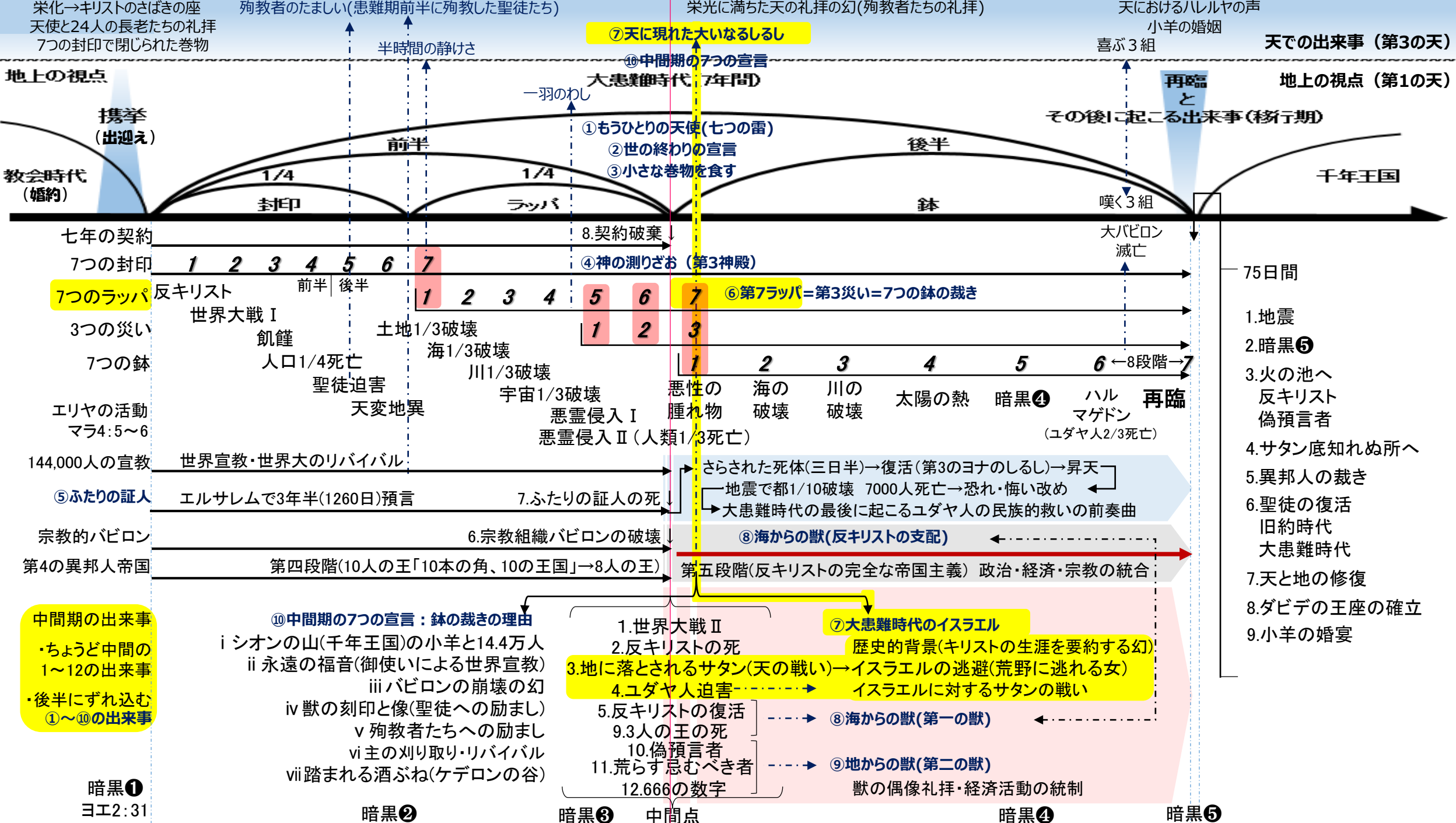
⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち

13章：前半

⑥海から上って来た獣：反キリスト

13章：後半

⑦地から上って来た獣：偽預言者



	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

13章

海からの獣、地からの獣

< アウトライン >

第23回

- (1) 獣の形状 (1~2節)
- (2) 獣の復活 (3~4節)
- (3) 獣の支配 (5~8節)
- (4) 励ましのことば (9~10節)

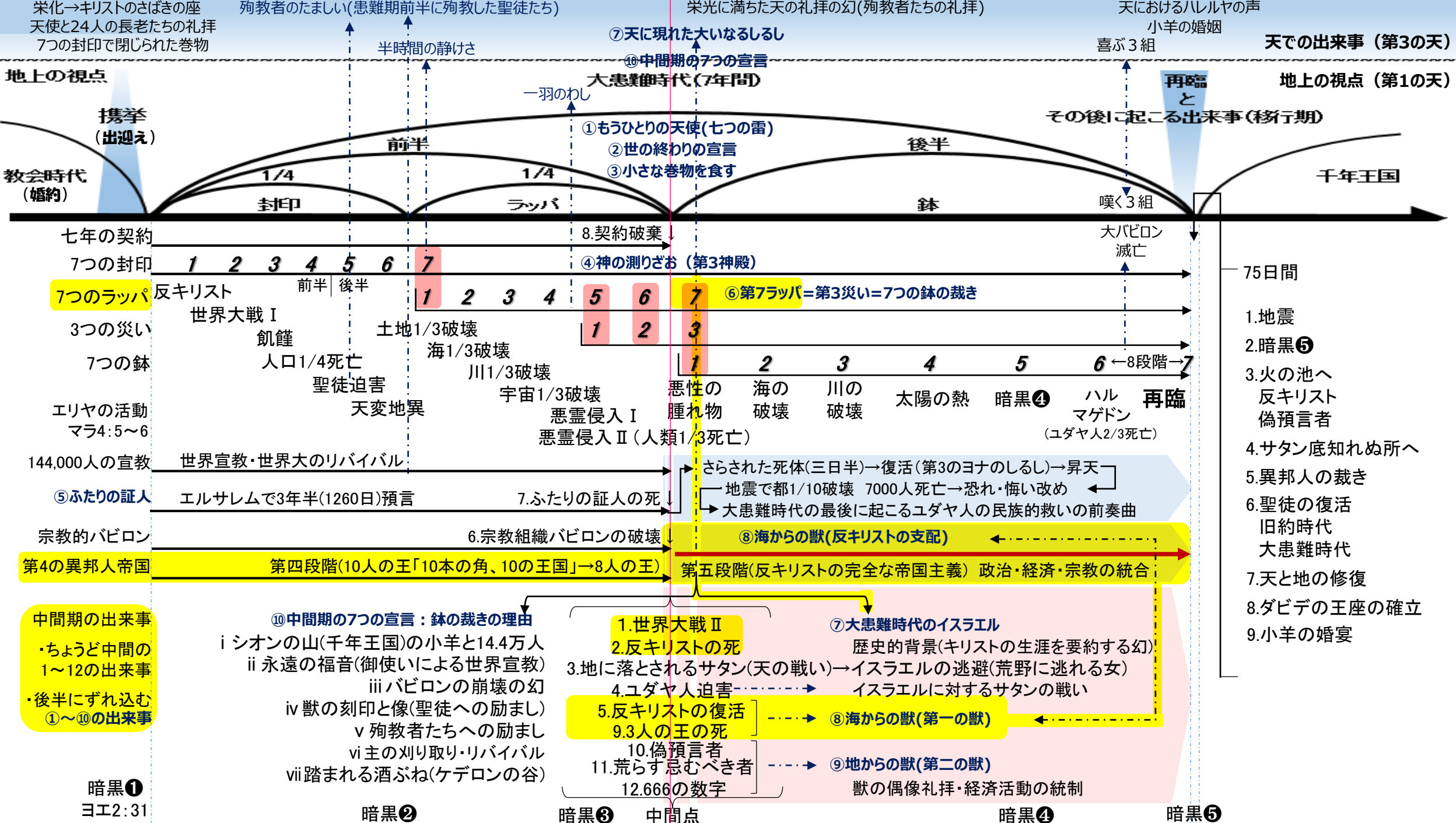
第24回

- (1) 獣の形状 (11~12節)
- (2) 獣が行う奇跡 (13~15節)
- (3) 獣の刻印 (16~18節)

7人の主役たち

～12-13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する～

- | | |
|--------|--|
| 12章：前半 | ①ひとりの女：イスラエルの象徴
②赤い竜：サタンの象徴
③男の子：キリストの象徴 |
| 12章：後半 | ④ミカエル：天使長
⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち |
| 13章：前半 | ⑥海から上って来た獣：反キリスト |
| 13章：後半 | ⑦地から上って来た獣：偽預言者 |



説A：フルクテンバウム説

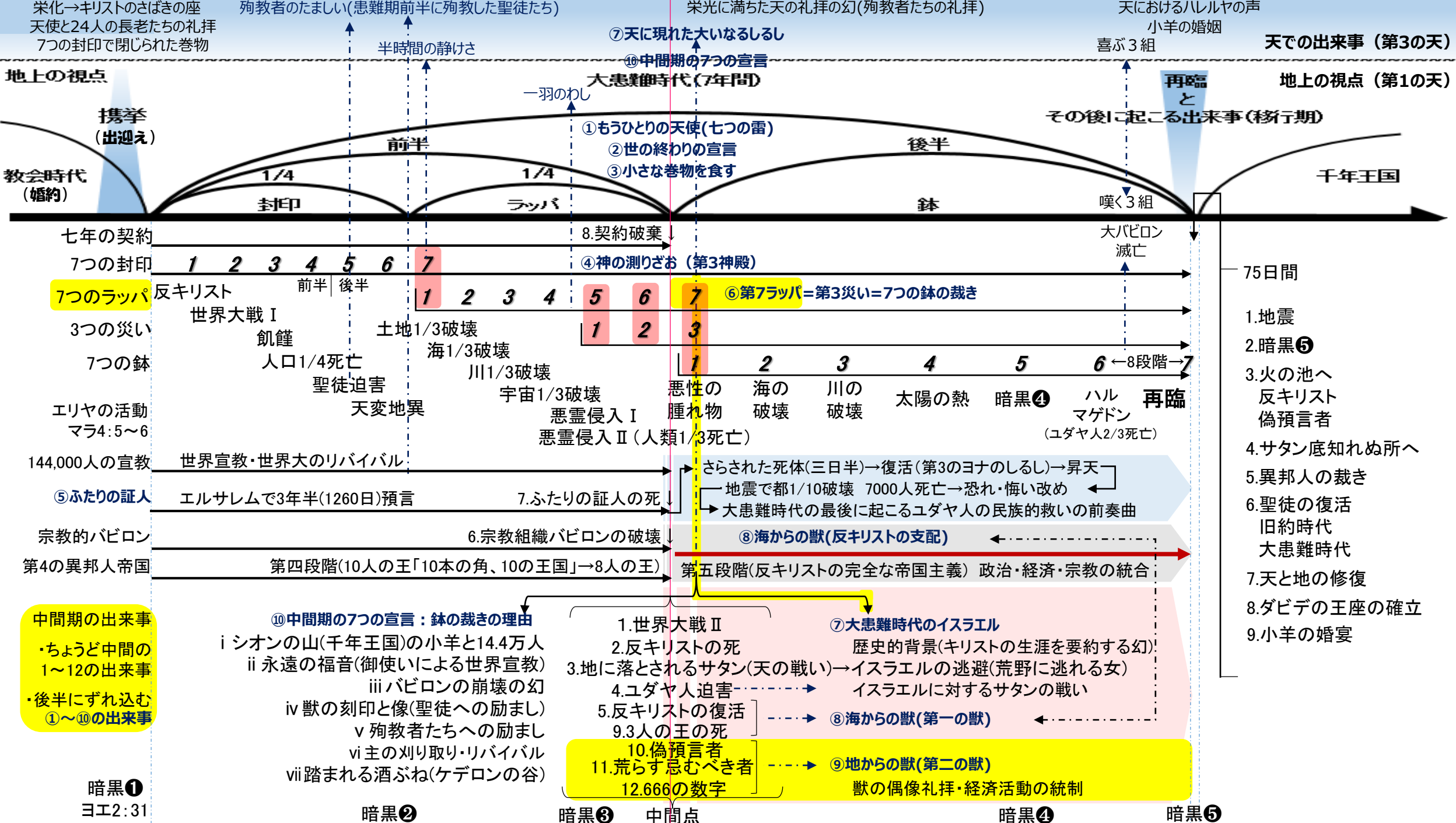
聖句箇所	過去					現在	将来	大患難		時代 後半					
	前半		中間												
	異邦人帝国（異邦人の時）														
黙13：1～10 黙17：9～12	第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	10本の角					第四の異邦人帝国（獣） 帝国主義の5つの段階						
ダニ7：7～12	獅子のよう で鷲の翼	熊	ひょうのよう で4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角											
ダニ2：40～43	頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土											
	古代ローマ共和国の統治形態					第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階					
	バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	ブレイマイオス	タルキソン王 の時代 (7人の王)	執政官 の時代	平民・ 独裁官 の時代	十人 委員 の時代	三頭 政治 の時代	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの 時代	東西分裂 (364年 ～現在) ★ 現在	世界統一 政府 ★ 将来	帝国主義第4段階の 10本の角とは10人の王のこと。 反キリストが 11番目 として台頭。 3本(人)を倒し 8番目 の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」 これは反キリストの 復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す (黙11:7)	彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)	
セレウコス				10の王国 10本の角 (10人の王)									8人の王 ひととき (黙17:12)		反キリスト (獣) による支配 (完全な帝国主義)
カッサンドロス															
リュシマコス				第1の頭 (山・王) (統治形態)									第2の頭 (山・王) (統治形態)		第3の頭 (山・王) (統治形態)
	7つの頭					7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(古代ローマ共和国の5つの統治形態)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)									

神の国
メシア的王国
/
千年王国

説B：通説

聖句箇所	過去					現在	将来	大患難時代					
								前半	中間	後半			
黙13：1～10 黙17：9～12	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 10本の角 </div>					異邦人帝国（異邦人の時）							
ダニ7：7～12						第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国（獣）			帝国主義の5つの段階	
ダニ2：40～43						獅子のようで鷲の翼	熊	ひょうのようで4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角				
	頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土									
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12	エジプト？	アッシリア？	バビロン	メド・ベルシャ	ギリシア	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階			
						統一王国（ローマ帝国） ★ヨハネの時代	東西分裂（364年～現在） ★現在	統一された世界政府 ★将来	10本の角は、帝国主義の第4段階の10人の王。 反キリストが11番目として台頭。3本(人)を倒し8番目の角として他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。しかし、やがて底知れぬ所から上ってきます」これは反キリストの復活を意味し、復活した反キリストは、二人の証人を殺す（黙11:7）	彼（反キリスト）が来ればしばらくの間（後半3年半）世界を支配する（獣の国）			
ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45									10の王国 10本の角（10人の王）	8人の王 ひととき（黙17:12）	反キリスト（獣）による支配（完全な帝国主義）		
第1の頭（山・王）（統治形態）		第2の頭（山・王）（統治形態）		第3の頭（山・王）（統治形態）		第4の頭（山・王）（統治形態）		第5の頭（山・王）（統治形態）		第6の頭（山・王）（統治形態=帝国主義）		第7の頭（反キリスト）完全な統治形態	
7つの頭													
7つの頭（7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷） 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去（エジプト？、アッシリア？、バビロン、メド・ベルシャ、ギリシア）、現在（ローマ帝国=帝国主義）、将来（反キリストによる独裁）													

神の国
メシア的王国
 /
千年王国



14章

天からの7つの宣言

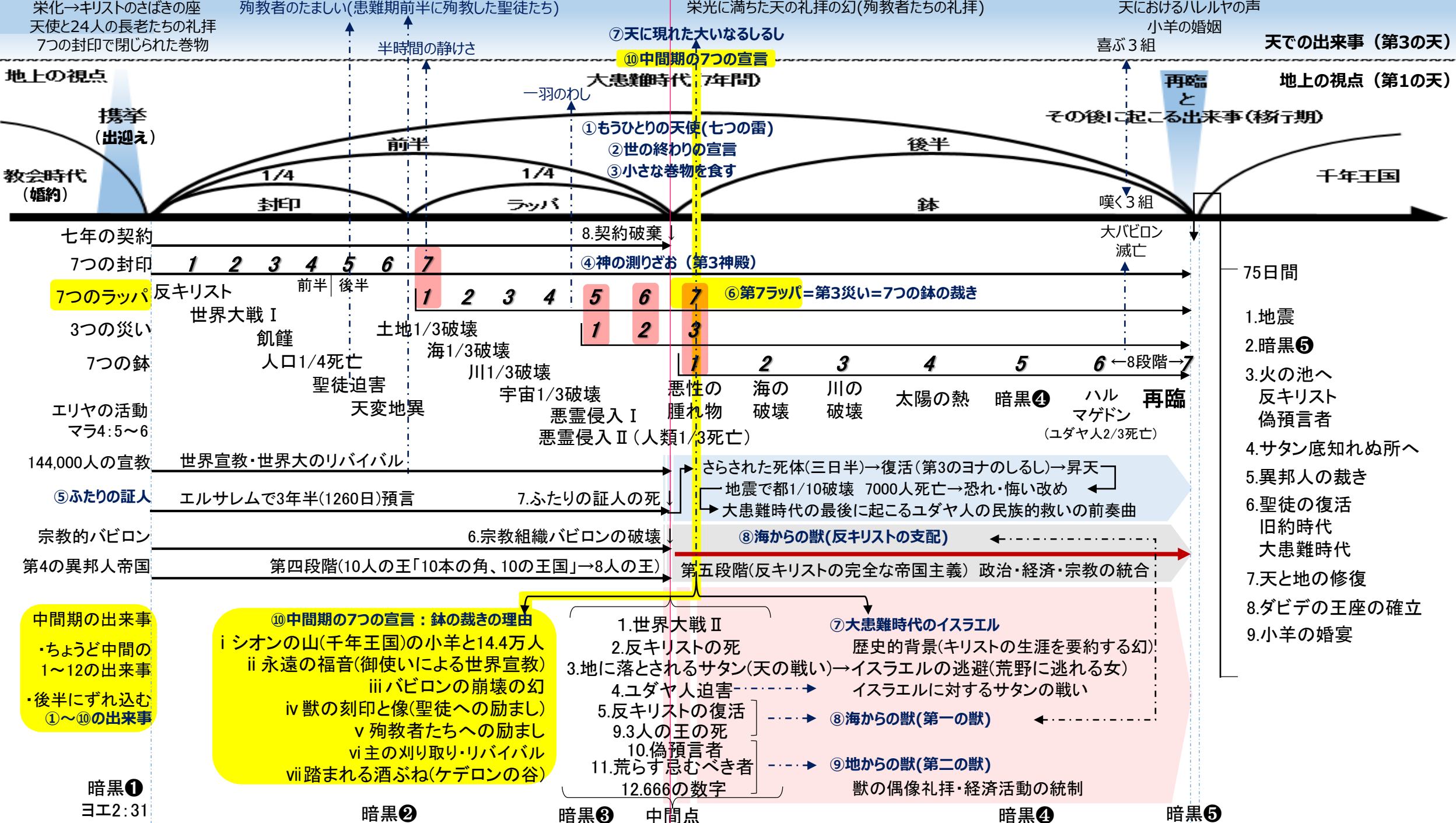
< アウトライン >

第25回

- (1) 第一の宣言：シオンの山の144,000人（1～5節）
- (2) 第二の宣言：永遠の福音（6～7節）
- (3) 第三の宣言：バビロンの崩壊（8節）

第26回

- (4) 第四の宣言：獣を拝む者たち（9～11節）
- (5) 第五の宣言：聖徒たち（12～13節）
- (6) 第六の宣言：刈り取り（14～16節）
- (7) 第七の宣言：神の激しい怒り（17～20節）



中間期の出来事
 ・ちょうど中間の1~12の出来事
 ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

⑩中間期の7つの宣言：鉢の裁きの理由
 i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
 ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
 iii バビロンの崩壊の幻
 iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
 v 殉教者たちへの励まし
 vi 主の刈り取り・リバイバル
 vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1.世界大戦Ⅱ
 2.反キリストの死
 3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
 4.ユダヤ人迫害
 5.反キリストの復活
 9.3人の王の死
 10.偽預言者
 11.荒らす忌むべき者
 12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル
 歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!
 イスラエルに対するサタンとの戦い
⑧海からの獣(第一の獣)
⑨地からの獣(第二の獣)
 獣の偶像礼拝・経済活動の統制

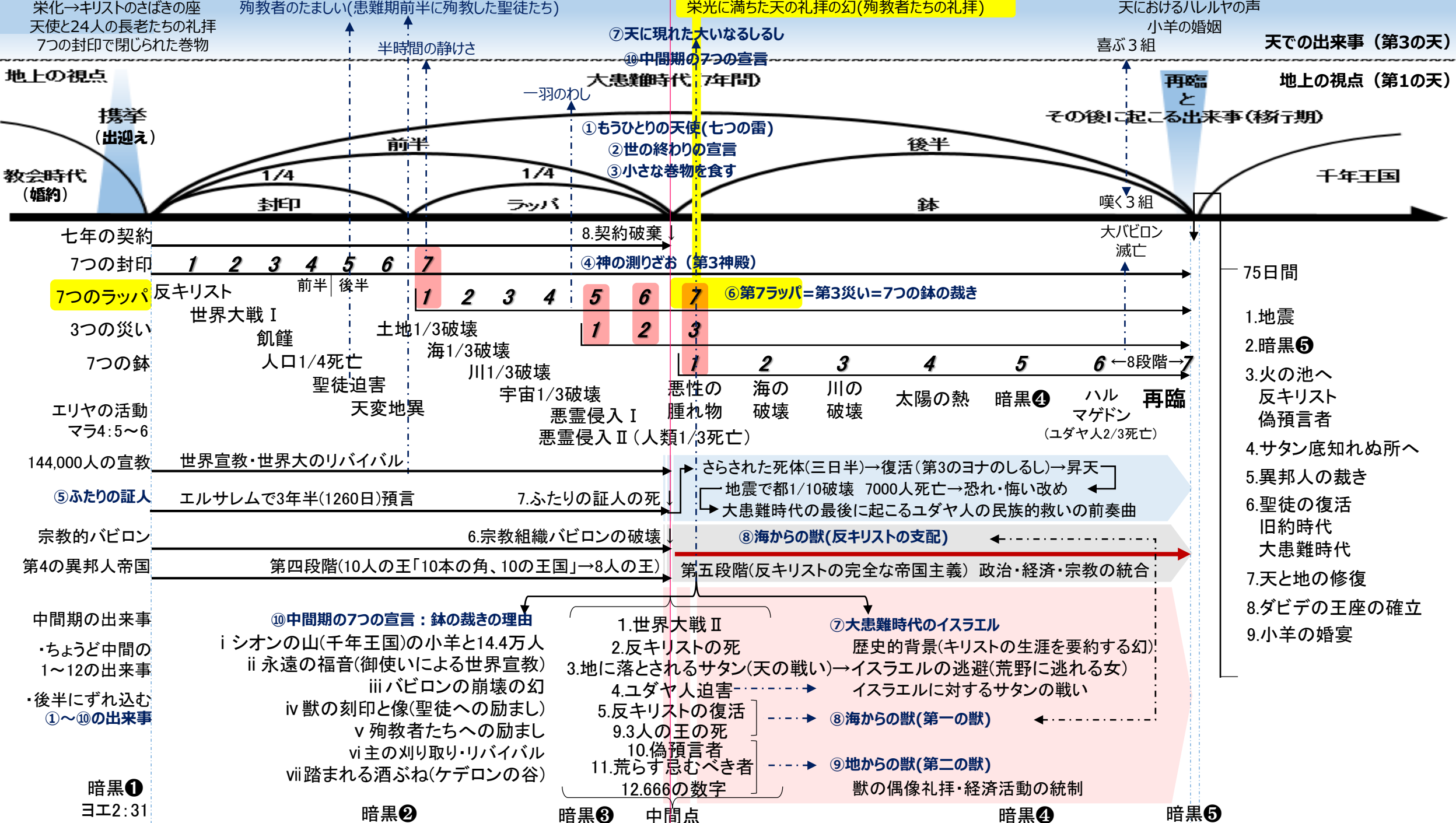
15章

鉢の裁きへの前奏曲

< アウトライン >

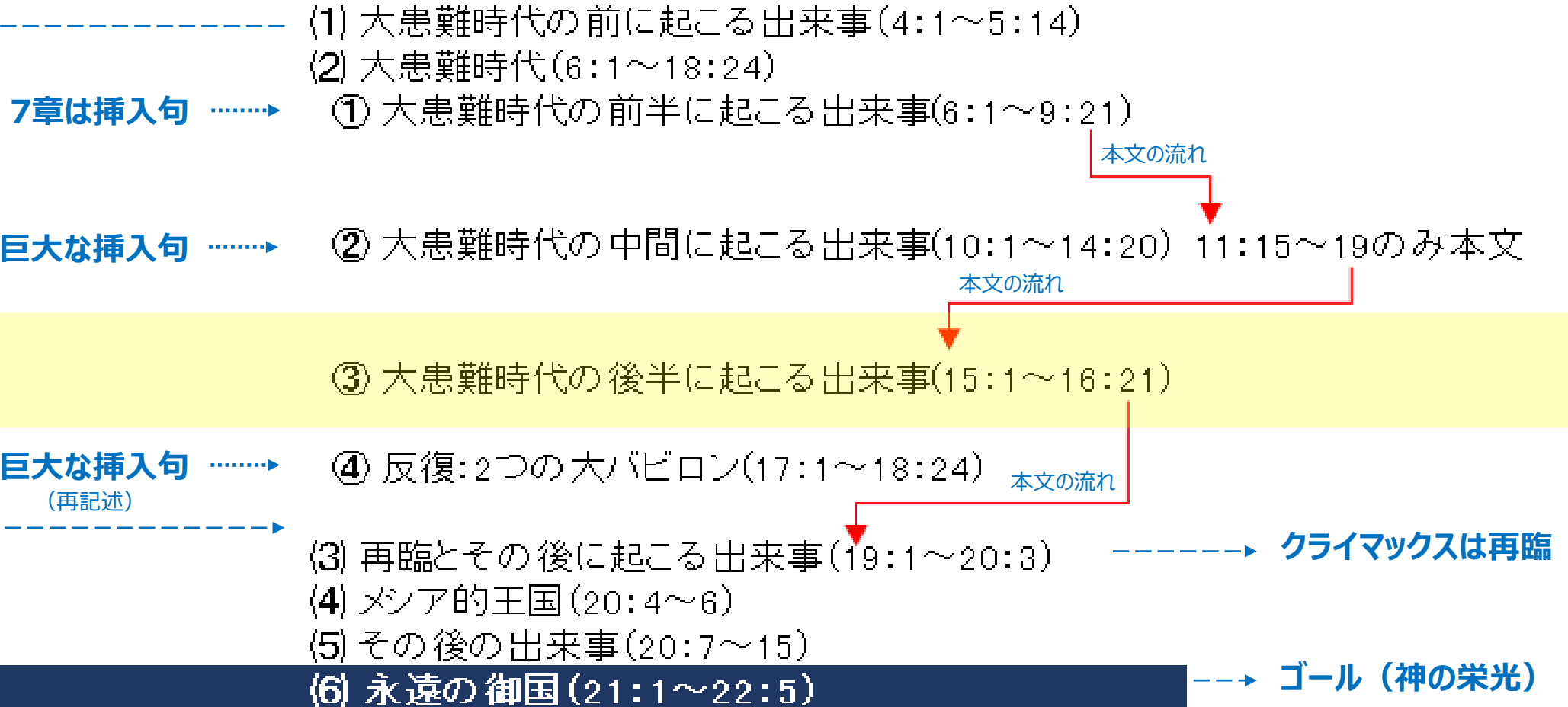
第27回

- (1) 7つの災害を携えた7人の天使 (1~2節)
- (2) モーセの歌と小羊の歌 (3~4節)
- (3) 開かれた天の幕屋の聖所 (5~6節)
- (4) 7つの鉢 (7~8節)



- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)

16章

鉢の裁き

< アウトライン >

第28回

(1)第1の鉢の裁き (1~2節)

(2)第2の鉢の裁き (3節)

(3)第3の鉢の裁き (4~7節)

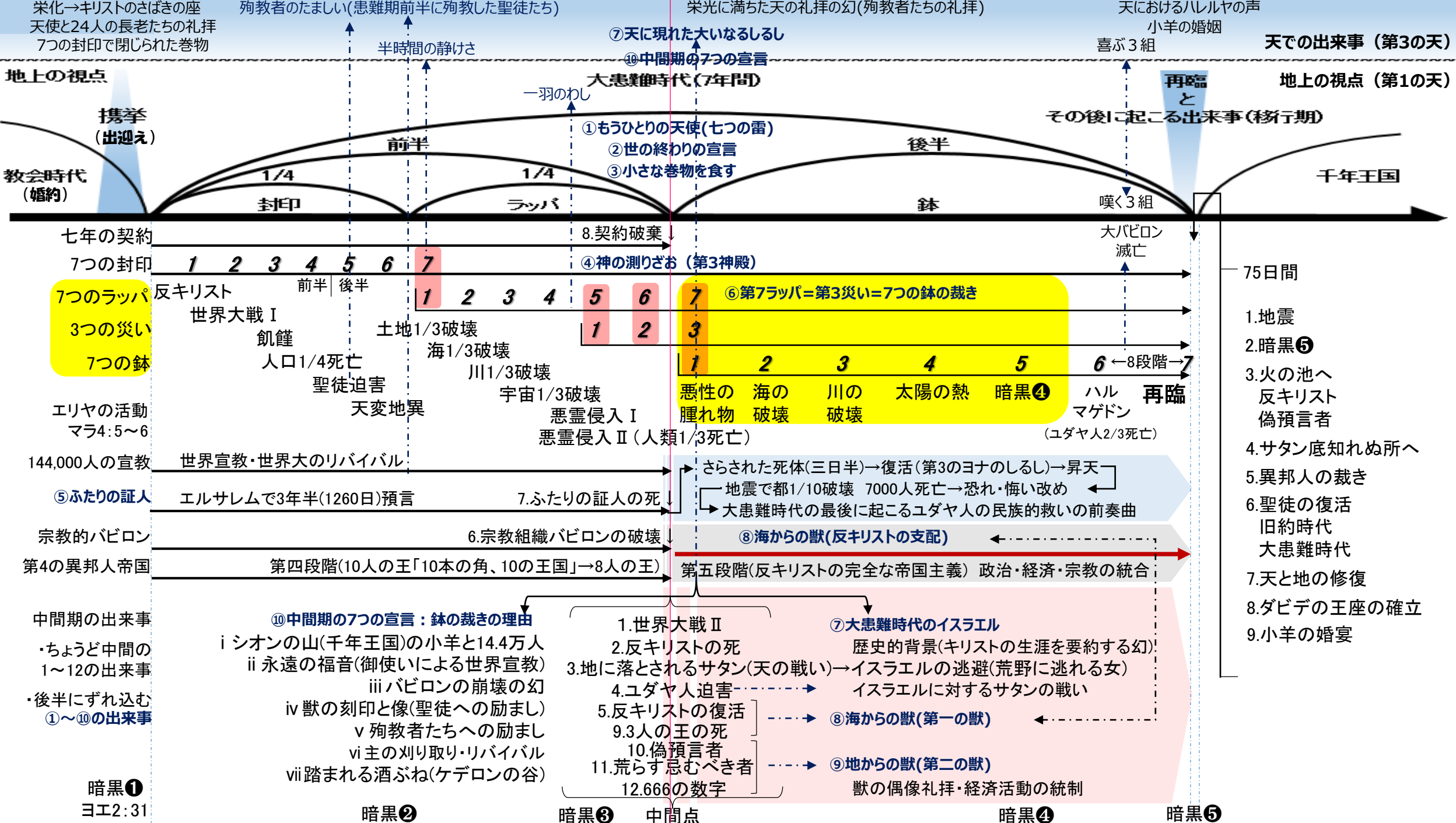
(4)第4の鉢の裁き (8~9節)

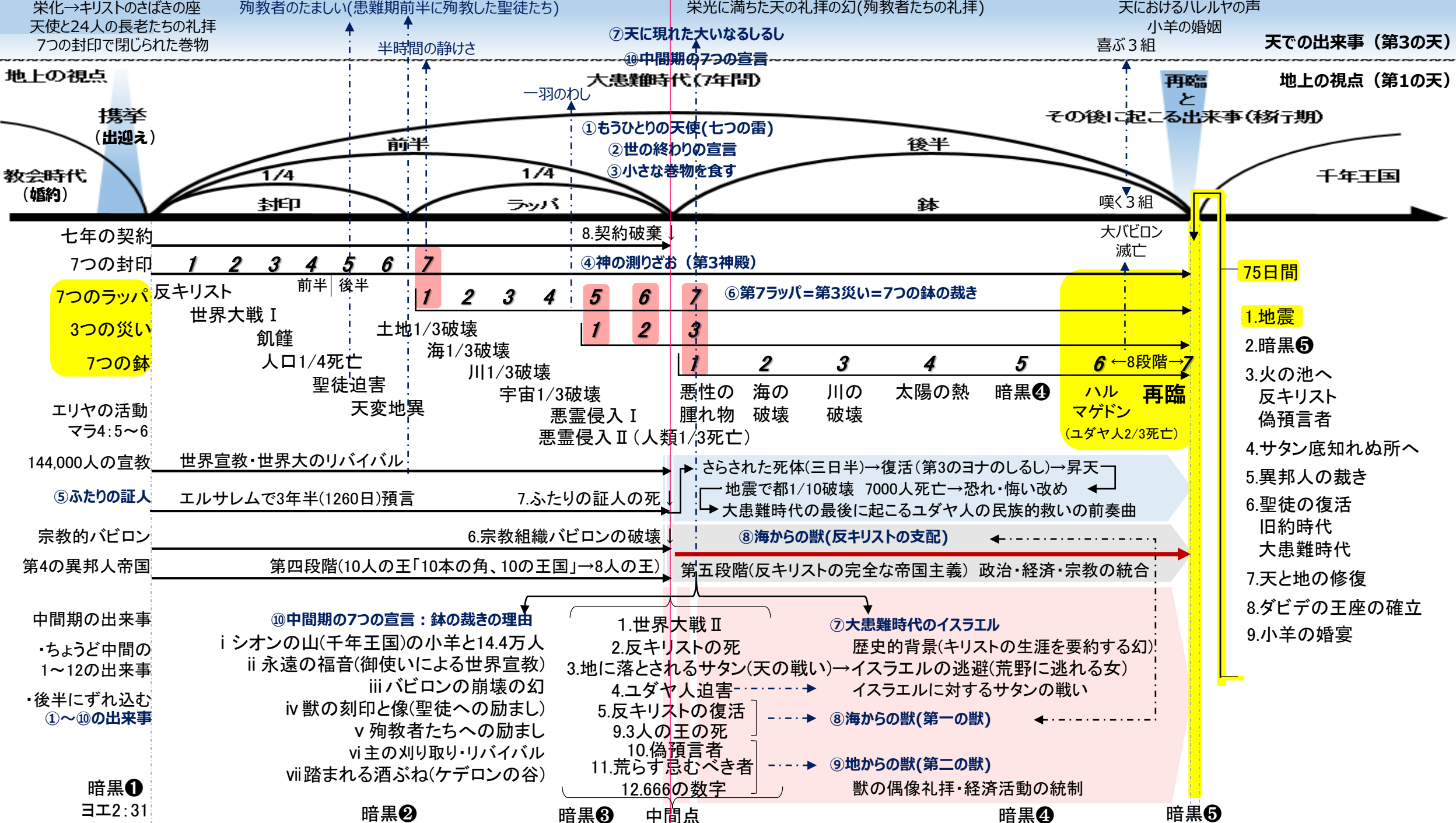
(5)第5の鉢の裁き (10~11節)

第29回



(6)第6の鉢の裁き (12~16節)

(7)第7の鉢の裁き (17~21節)







 親バビロン、親・反キリストの軍勢
 反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯涸と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まり」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7
第7段階	ケデロン谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの平野(谷)
(ハルマゲドン)

イラク

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

ボツラ
(ペトラ)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3:9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5:5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12:1~9 ゼカ14:1~2 ゼカ10:4~9 ミカ4:19~5:1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17	エレ49:13~14 ミカ2:12 ダニ11:36~45 マタ24:15~22 イザ33:12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願		ゼカ12:10 ホセ5:15 詩79 レビ26:39~42 ホセ6:1~3 詩80:1~3, 17 エレ3:12~18 イザ53:1~9 マタ23:37~39 イザ64 ロマ11:26 イザ66
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7	イザ34:1~7 イザ63:1~6 ハバ3:1~19 エゼ39:21~29 マタ16:27 マタ24:30 ミカ2:12~13 使1:9~11 Iテサ3:13, 4:14 ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20	ヨエ3:12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの香)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14:3~4a ゼカ14:4b~5 マタ24:29 ヨエ3:14~17

大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	
2	暗黒		マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17~25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

17章

宗教バビロンの崩壊

< アウトライン >

第30回

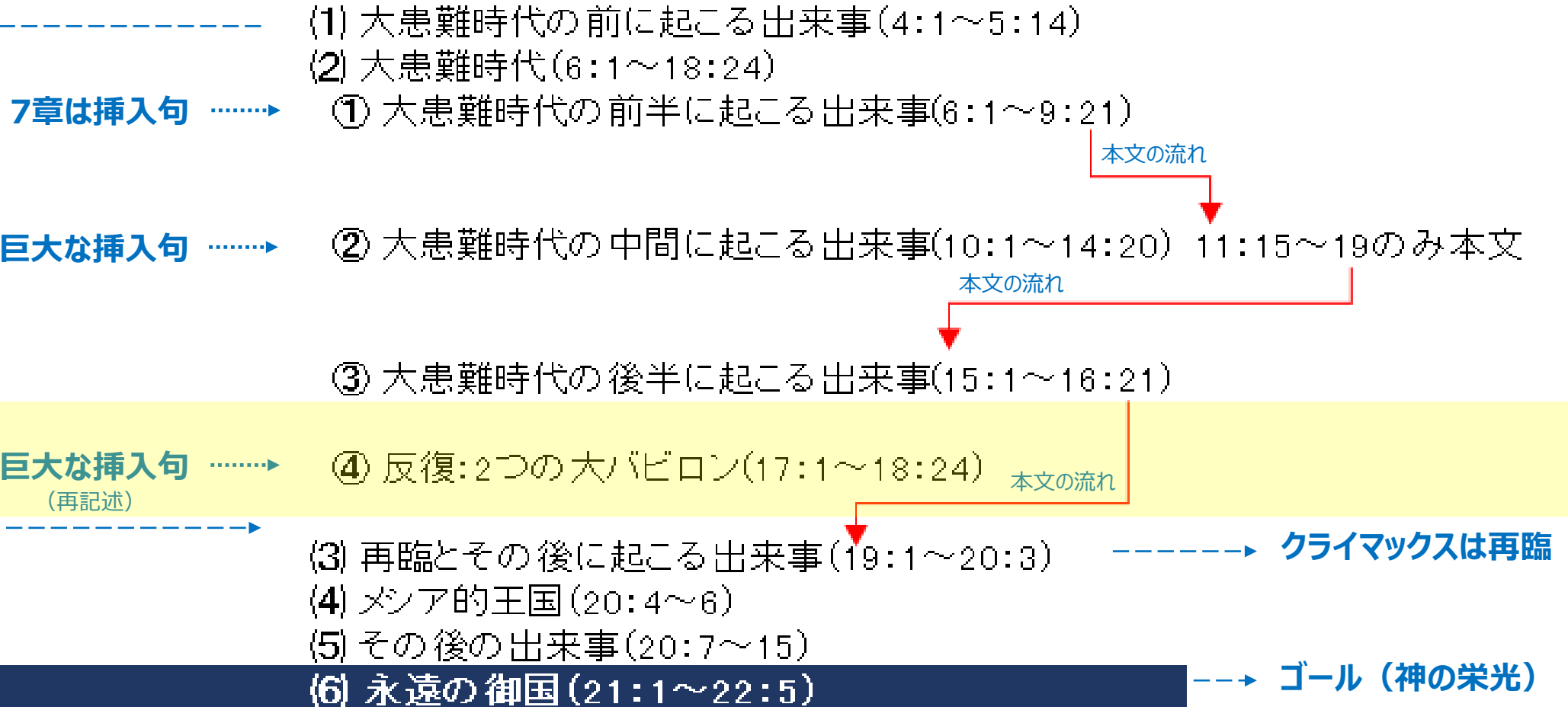
(1)大バビロンの描写 (1~6節)

(2)大バビロンの解説 (7~14節)

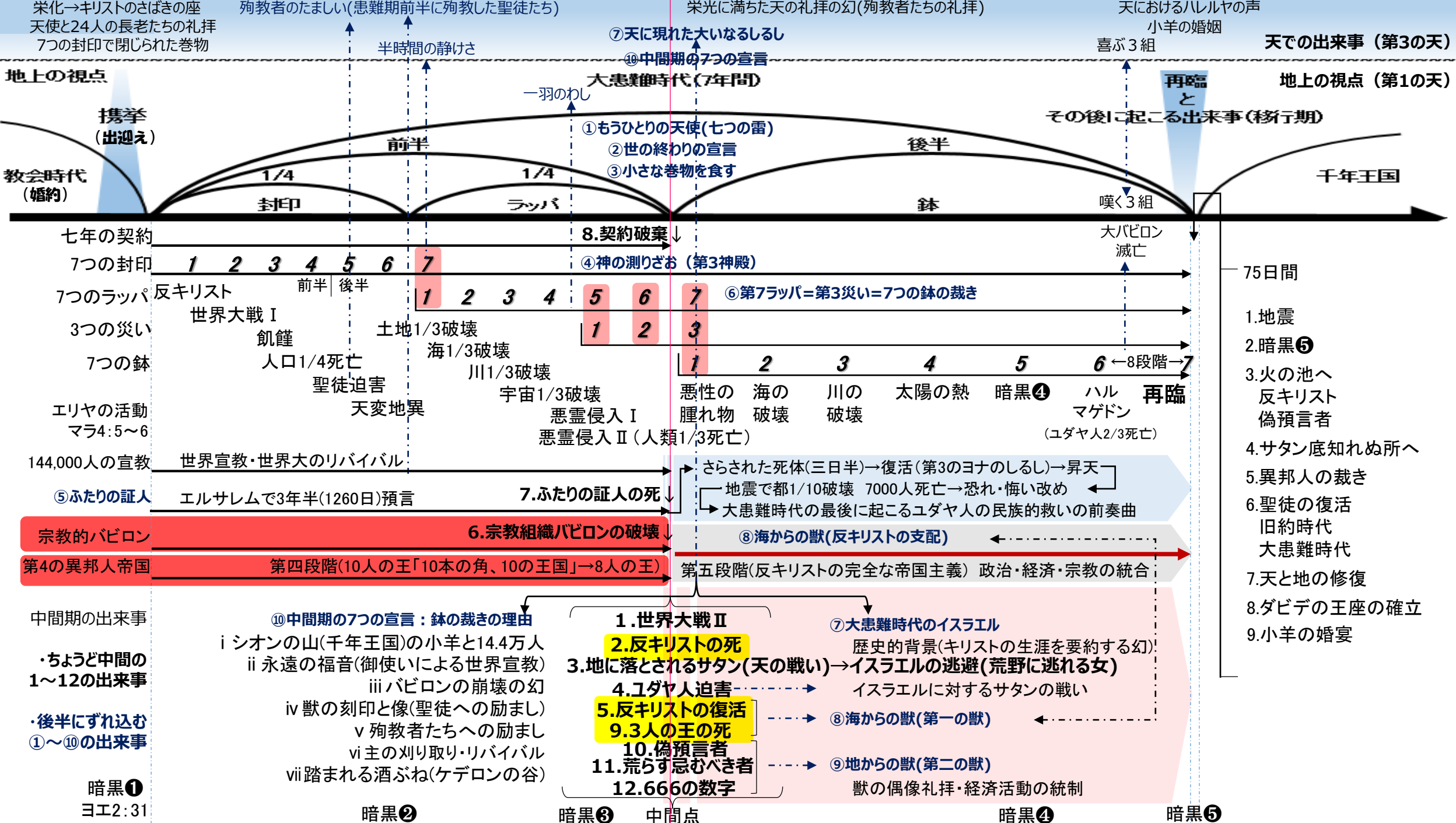
(3)大バビロンの滅亡 (15~18節)

- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)



説A：フルクテンbaum説

聖句箇所	過去					現在	将来	大患難		時代 後半					
	前半		中間												
	異邦人帝国（異邦人の時）														
黙13：1～10 黙17：9～12	第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	10本の角					第四の異邦人帝国（獣） 帝国主義の5つの段階						
ダニ7：7～12	獅子のよう で鷲の翼	熊	ひょうのよう で4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角											
ダニ2：40～43	頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土											
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12 ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45	バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	古代ローマ共和国の統治形態					第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階		
				ブレイマイオス	タルキソン王 の時代 (7人の王)	執政官 の時代	平民・ 独裁官 の時代	十人 委員 の時代	三頭 政治 の時代	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの 時代	東西分裂 (364年 ～現在) ★ 現在	世界統一 政府 ★ 将来	帝国主義第4段階の 10本の角とは10人の王のこと。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」 これは反キリストの 復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す (黙11:7)	彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)	
				セレウコス									10の王国 10本の角 (10人の王)	8人の王 ひととき (黙17:12)	反キリスト (獣) による支配 (完全な帝国主義)
				カッサンドロス											
				リュシマコス									第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)
7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(古代ローマ共和国の5つの統治形態)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)															

神の国
メシア的王国
/
千年王国

説B：通説

聖句箇所	過去					現在	将来	大患難時代										
								前半	中間	後半								
黙13：1～10 黙17：9～12	異邦人帝国（異邦人の時）					<div style="text-align: right; font-size: 2em; color: blue;">10本の角</div> 第四の異邦人帝国（獣） 帝国主義の5つの段階												
ダニ7：7～12											第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	大きな鉄のきばと10本の角				
ダニ2：40～43											獅子のよう で鷲の翼	熊	ひょうのよう で4つの翼	すねは鉄、足は鉄と粘土				
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12	エジプト？	アッシリア？	バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階								
ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45						統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	10本の角は、帝国主義の 第4段階の10人の王。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。しかし、 やがて底知れぬ所から上ってきます」 これは反キリストの復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す(黙11:7)	彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)								
			第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭(山・王) (統治形態=帝国主義)	第7の頭(反キリスト) 完全な統治形態									
<div style="font-size: 2em; color: blue;">7つの頭</div> 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリア？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)																		

神の国
メシア的王国
/
千年王国

18章

経済的・政治的バビロンの崩壊

< アウトライン >

第31回

(1)大バビロン崩壊の宣言 (1~3節)

(2)大バビロンからの脱出 (4~5節)

(3)大バビロンの罪の糾弾 (6~8節)

第32回

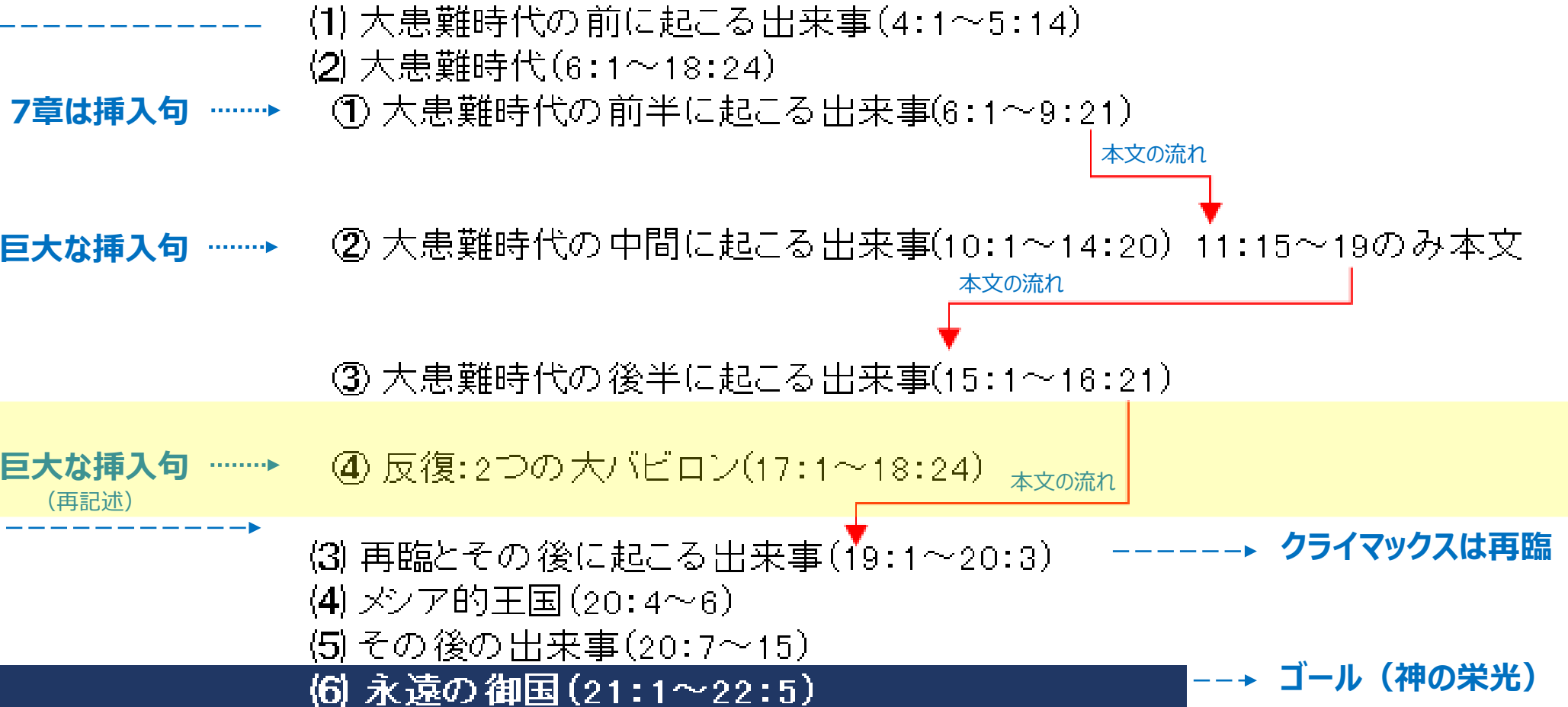
(4)大バビロンの崩壊を嘆く人たち (9~19節)

(5)大バビロンの崩壊を喜ぶ人たち (20節)

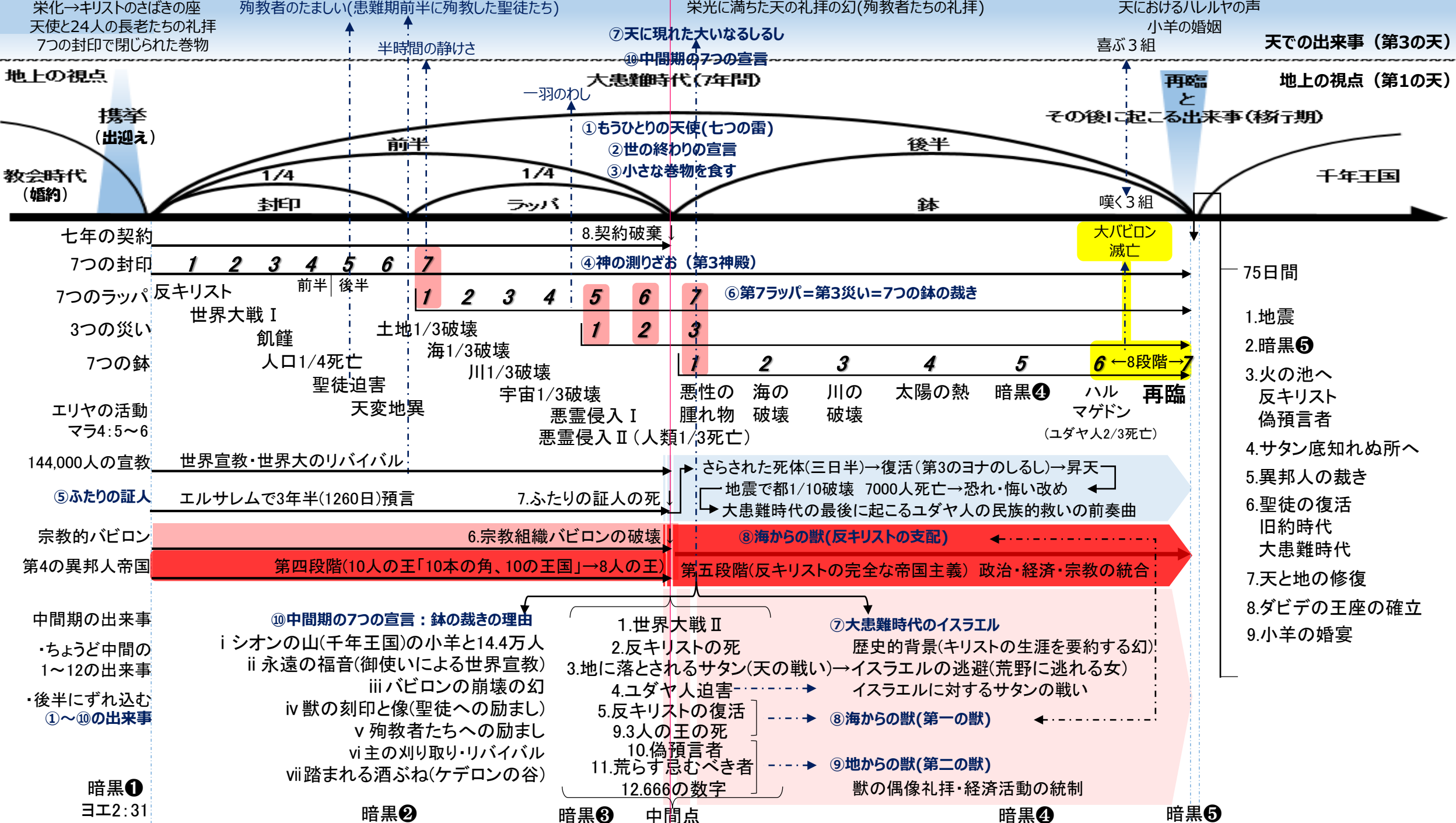
(6)大バビロンの崩壊の描写 (21~24節)

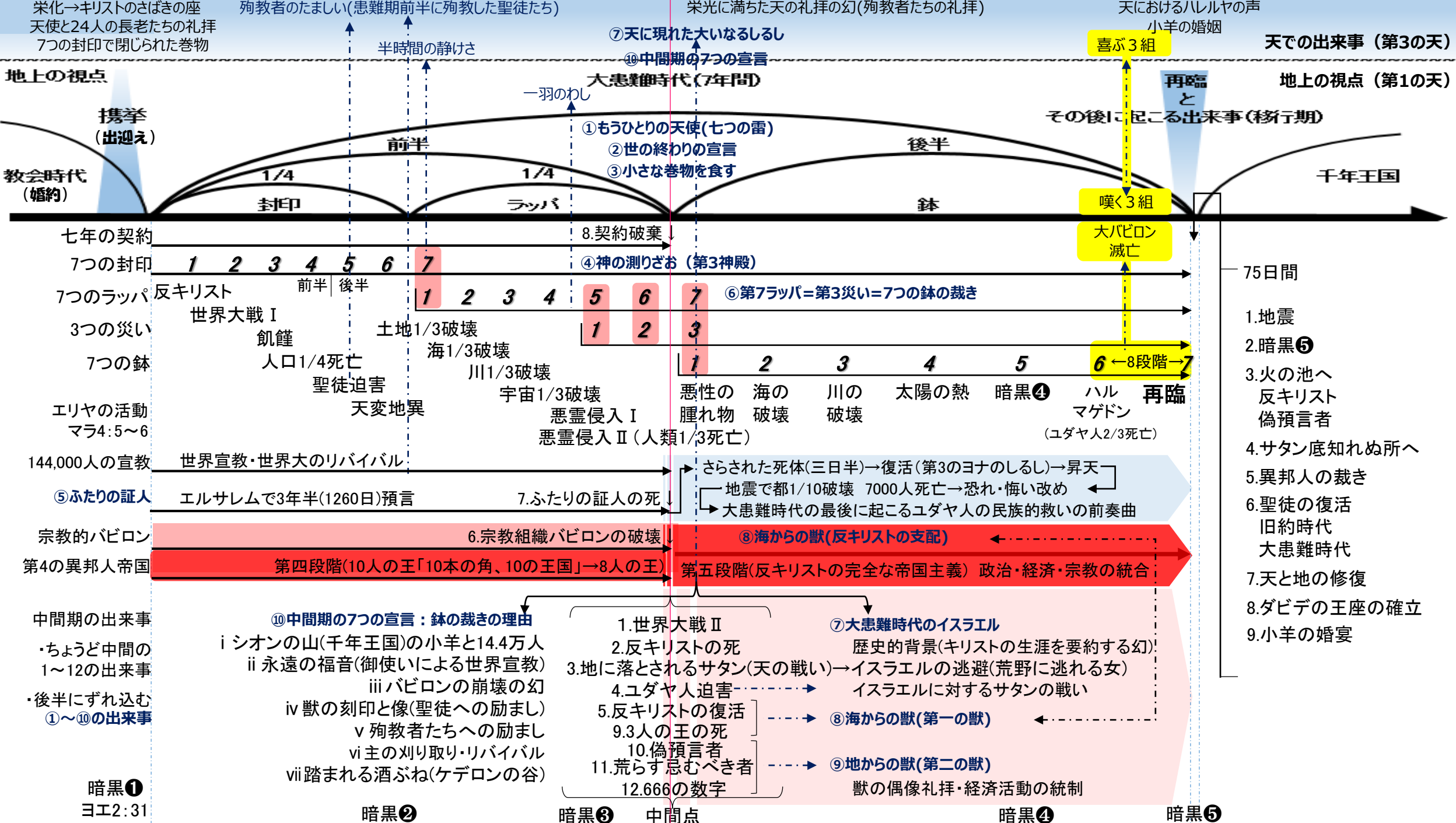
- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

再臨までのプロセス(4~18章)



結論(22:6~21)





栄化→キリストのさばきの座
 天使と24人の長老たちの礼拝
 7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難期前半に殉教した聖徒たち)

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)

天におけるハレルヤの声
 小羊の婚姻

地上の視点

天での出来事 (第3の天)

地上の視点 (第1の天)

携挙(出迎え)

教会時代(婚約)

7年の契約

7つの封印

7つのラツパ

3つの災い

7つの鉢

エリヤの活動

マラ4:5~6

144,000人の宣教

⑤ふたりの証人

宗教的バビロン

第4の異邦人帝国

中間期の出来事

・ちょうど中間の1~12の出来事

・後半にずれ込む①~⑩の出来事

暗黒①

ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③

中間点

暗黒④

暗黒⑤

半時間の静けさ

⑦天に現れた大いなるしるし

⑩中間期の7つの宣言

大患難時代(7年間)

①もうひとりの天使(七つの雷)

②世の終わりの宣言

③小さな巻物を食す

④神の測りざお(第3神殿)

⑥第7ラツパ=第3災い=7つの鉢の裁き

⑧海からの獣(反キリストの支配)

⑨地からの獣(第二の獣)

喜ぶ3組

嘆く3組

大バビロン滅亡

75日間

1.地震

2.暗黒⑤

3.火の池へ反キリスト偽預言者

4.サタン底知れぬ所へ

5.異邦人の裁き

6.聖徒の復活

旧約時代

大患難時代

7.天と地の修復

8.ダビデの王座の確立

9.小羊の婚宴

⑩中間期の7つの宣言：鉢の裁きの理由

- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
- ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
- iii バビロンの崩壊の幻
- iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
- v 殉教者たちへの励まし
- vi 主の刈り取り・リバイバル
- vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

- 1.世界大戦Ⅱ
- 2.反キリストの死
- 3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
- 4.ユダヤ人迫害
- 5.反キリストの復活
- 9.3人の王の死
- 10.偽預言者
- 11.荒らす忌むべき者
- 12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル



歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)
 イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制



 親バビロン、親・反キリストの軍勢
 反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ユーフラテス川の枯涸と悪霊による王の参集	黙16:12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・異邦人信者による ・神ご自身による	黙14:8 黙18章 黙19:1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12:6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・イスラエルによる国家的罪の告白 ・イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12:7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19:11~16 黙1:7
第7段階	ケデロン谷で最終的な勝利 ・反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14:17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16:17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの
平野(谷)
(ハルマゲドン)

イラク

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

ボツラ
(ペトラ)

死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス
(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス
(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ
(比喩的言葉)

⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる		アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	
悪霊				第2、第3の天や 地上に移動可能	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			ゲヘナ (火の池)
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	